

平成 27 年度第 4 回  
嬉野地区新高校  
設置準備委員会  
(資料)

平成 28 年 1 月 7 日  
佐賀県教育委員会

# 目次

	頁
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第3回新高校設置準備委員会報告まとめ . . . . . 1
資料 2	めざす学校像について . . . . . 4
資料 3	新高校の学科構成について . . . . . 5
資料 4	校舎制について . . . . . 36
資料 5	新高校設置準備委員会設置要領 . . . . . 41
資料 6	嬉野地区新高校設置に向けた検討体制 . . . . . 43
資料 7	嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成 . . . . . 44

資料1 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）  
第3回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成27年 10月23日（金） 10時～11時30分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 12人 県教育委員会関係委員 8人
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成27年 10月26日（月） 15時～16時30分 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 8人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成27年 10月27日（火） 10時～11時30分 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 9人 県教育委員会関係委員 7人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成27年 10月27日（火） 15時～16時 （太良高校視察は、13：45～） 太良高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 8人
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成27年 10月29日（木） 15時～16時30分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 7人

2 主な意見等

地区	主な意見等
杵島地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認 学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新学科を設置する案も資料には示されているが、ニーズがあるだろうか。学科等で特色を出すより、普通科と商業科の組合せが良いと思う。</li> <li>・ 普通科で基礎学力を身に付け、進学して専門性を身に付けるという考えでもいいのではないか。新高校の学科構成は、普通科120人、商業科80人を募集定員とするパターンがいいと考える。</li> <li>・ （新高校の学科等について）「中学生にアンケートをしてはどうか」という意見があったが、中学生にニーズを答えさせるのは難しいと思う。学科に関しては、大人が時代を見ながら決めてやるべきだと思うが、大学入試制度が変わったり、技術革新も進んだりする中、固定化した学科よりも、例えばコースにする等、柔軟性を持たせた方が良いのではないか。</li> <li>・ 医療・看護・介護分野へ進学する生徒が多い現状を踏まえると、そういった分野のコースを作ることも考えられると思う。</li> </ul>

地区	主な意見等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通科と商業科を融合したような学科で、進学にも就職にも対応させるとか、文理学科のような学科で、文系にも理系にも対応させるようなことはできないか。</li> <li>・ 普通科と商業科を一括して募集し、2年次から学科ごとに分ける方が子ども達のニーズに合うのではないか。</li> </ul>
伊万里地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認</p> <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料に学科構成のパターンが複数示しており、農業科だと「生物生産科」、商業科だと「商業科」が必ず入っているが、それらが中心になると理解してよいか。</li> <li>・ 資料の学科パターンに新高校の学科の一つとして農業系とか商業系の融合学科というものが示されているが、具体的な構想を示してほしい。</li> <li>・ 生徒募集は農業科と商業科でくくり募集を行い、2年次からコース選択のような形を取るわけにはいかないのか。</li> <li>・ 新高校の募集定員は200人と決まっているが、これを5学級ではなく、6学級にすることはできないのか。</li> <li>・ 地方創生が議論される中、産業界からの声を聞くために、商工会議所や農協などの方に、この会に参加してもらってはどうか。</li> </ul>
嬉野地区	<p>「めざす学校像」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域社会に貢献できる人材を育成する学校」とあるが、「地域」を無くして、「社会貢献」とした方が広がりがある良いのではないか。</li> <li>・ 地域に必要とされる学校でなければならない。やはり「地域」は必要ではないか。</li> <li>・ 「めざす学校像」には「グローバル」より「国際化」の方がふさわしいのではないか。</li> </ul> <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業科の場合は、資格取得や専門の学習が大変になるので、1年生の時から専門的な勉強をさせた方がいい。</li> <li>・ 企業側としては、工業科の専門性は高い方がいい。総合学科は専門性の深い学習ができていないか疑問を持たれる。専門学科を残してほしい。</li> <li>・ 総合学科の福祉系列も、国家試験を取らせるために1年生から専門的な学習をさせている。他の総合学科を参考にして、工業の専門性についても工夫できるところがあるのではないか。</li> <li>・ 平成30年度を100人ずつで募集できないか。</li> <li>・ 小規模化していく中で、工業の小学科については、産業界の意見等も聞く必要があると思う。</li> </ul>

地区	主な意見等
唐津地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校時についての校内検討では、始業時間を変えないで、放課後の時間を確保するという案も出た。遅い校時の太良高校と違えることで、学校選択の判断材料のひとつとなるのではないか。</li> <li>・ 不登校経験や発達障害のある生徒も通学しやすいよう、太良高校のように始業時間を遅らせる案が良いのではないか。</li> <li>・ 巖木高校の場合、「地元の協力」という際、昔の巖木町であればわかりやすいが、今は唐津市ということもあり、「地域」「地元」のとらえ方が難しい。</li> </ul>
鹿島地区	<p>「めざす学校像」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性格が異なる2つの高校を一緒にして、新たな学校づくりをするという方向で、それぞれの学校の良さをうまくつなげて「めざす学校像」を作っていると思う。</li> </ul> <p>事務局案のとおり承認 学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通科と専門学科から40人ずつ減らすパターンが現実的と思う。ただ、どちらを先に減ずるにしても、理由の整理が必要である。</li> <li>・ 組合せは、普通科160人、商業科40人、食品調理科40人が良いのではないか。</li> <li>・ 平成30年度の40人の定員減を、普通科と専門学科から20人ずつの減とできないか。</li> </ul>

## 資料2 めざす学校像について

### めざす学校像

#### 【再案】

一人一人の個性を伸ばし、地域とともに歩み、未来へ向かって躍動する学校。

心身ともに健全で、幅広い知識と高度な技術を有する人材を育成する学校。

国際的な視野と地域を愛する心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する学校。

調和のとれた「知・徳・体」を育み、生徒一人ひとりの個性を伸ばしていく。  
現在の両校の特色である幅広い知識と高度な技術に関する教育内容を新高校にも生かしていく。

国際的な視野で地域貢献できる人材を育てることと共に、地域を愛する心を持って世界に羽ばたいていく人材を育てていく。

地域との連携や協力を大切にしていける学校であることを柱としていく。

#### 参考資料

#### (1) 第3回嬉野地区新高校設置準備委員会で示した案

心身ともに健全で、誠実かつ豊かな心を持ち、幅広い知識と磨かれた技術を有する人材を育成する学校。

グローバルな視野と郷土を愛する心を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する学校。

一人ひとりの個性を伸ばし、未来へ躍動する人材を育成する学校。

#### (2) これまでの嬉野地区新高校設置準備委員会での主な御意見

##### めざす学校像について

< 第1回、第2回嬉野地区新高校設置準備委員会での御意見 >

- ・ 現在ある学校の特色を生かしながら、充実した人材育成を行う。
- ・ 多様な進路保障や学科の連携を行う。
- ・ 「知・徳・体」に触れるような言葉は必要。
- ・ 「郷土を愛する心」、「地域との連携」は必要。
- ・ 「国際的視野」、「グローバル化」などの言葉は必要。
- ・ 形式としては箇条書きがはっきりしている。

< 第3回嬉野地区新高校設置準備委員会での御意見 >

- ・ 「地域社会に貢献できる人材を育成する学校」とあるが、「地域」を無くして、「社会貢献」とした方が広がりがあるのではないかと。
- ・ 地域に必要とされる学校でなければならない。やはり「地域」は必要ではないかと。
- ・ 「めざす学校像」には「グローバル」より「国際化」の方がふさわしいのではないかと。

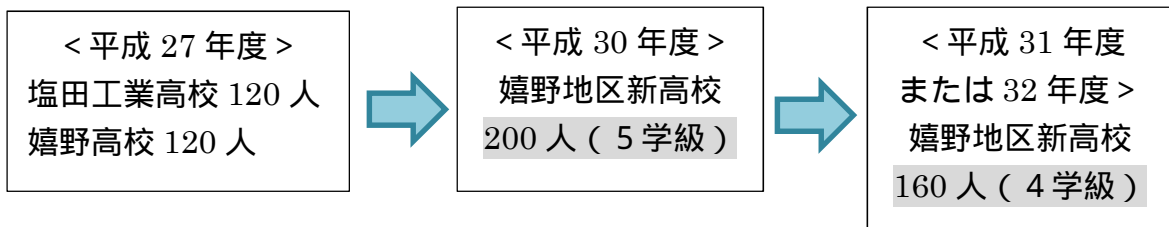
資料3 新高校の学科構成について

1 新実施計画（第1次）における新高校の学科についての基本的な考え方  
 「現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。」こととしている。

2 新高校の学科構成について  
 <平成27年度現在の学科の状況>

学校	大学科	小学科	募集定員 (人・学級)	備考
塩田工業高校	工業科	機械科	40人・1学級	2年次より 「専門コース」 「進学コース」
		情報技術科、電気科	40人・1学級	
		建築科	40人・1学級	
嬉野高校	総合学科	-	120人・3学級	情報ビジネス系列、観光・流通系列、人文科学系列、文化教養系列、社会福祉系列の5系列

(1) 募集定員の見込



(2) 統合後の学級数と学科について

平成29年度まで (現在)	塩田工業高校 (3学級)	嬉野高校 (3学級)
	↓	
	嬉野地区新高校	
	(仮称) 塩田校舎	(仮称) 嬉野校舎
平成30年度 5学級 200人	120人(3学級) + 80人(2学級) 配置については4学級(160人)パターンを決定後に検討。	
平成31年度 または 平成32年度 4学級 160人	<p>いずれも募集定員80人</p> <p>&lt;パターン1&gt;                      機械科 40人 1学級                      情報技術科 10人                      電気科 10人                      建築科 20人                      40人 1学級</p> <p>&lt;パターン2&gt;                      機械科 40人 1学級                      情報技術・電気科 20人                      建築科 20人                      40人 1学級</p> <p>&lt;パターン3&gt;                      機械科 40人 1学級                      情報電気科 20人                      建築科 20人                      40人 1学級</p>	<p>いずれも募集定員80人</p> <p>&lt;パターン1&gt;                      【総合学科】80人 2学級                      ・情報ビジネス系列                      ・観光・流通系列                      ・人文科学・文化教養系列                      ・社会福祉系列</p> <p>&lt;パターン2&gt;                      【専門学科】                      商業系学科 40人 1学級                      (観光と商業の特色を持つ学科)                      福祉系学科 40人 1学級                      (福祉と保育の特色を持つ学科)</p>

参考資料

1 地元のニーズについて（事業所への聞き取り）

<実施日>平成27年11月18日（水）、24日（火）

<聞き取り方法>各事業所へ訪問し、関係担当者への直接聞き取り

<訪問事業所数> 4

<内容>

事業所	A	B	C	D
所在地	鹿島市	嬉野市塩田町	嬉野市嬉野町	嬉野市嬉野町
事業内容	製造業	製造業	福祉関係	宿泊業
採用について	<p>○塩田工業高校には機械科を指定して求人を出しているが、別の学科の人を採用している時もある。</p> <p>○資格は特に求めているない。</p>	<p>○塩田工業高校への求人は学科指定ではないが、過去の採用状況からは電気科よりも機械科の人の採用が多いと思う。</p> <p>○基本は技能工（ライン作業）だが、機械の保守や設計のための技術職が必要になる場合がある。技能工については、技術的な知識が必要というわけではないが、技術職については、機械、電気の基礎的な知識（高校程度）を持った人を採用している。</p>	<p>○嬉野高校の卒業生を採用している。嬉野高校の社会福祉系列ではしっかりとした指導がなされており、安心して採用できる。</p>	<p>○採用に関して学科を限定することはない。仕事内容も学科は関係ない</p> <p>○資格は特に求めているない。</p>
求める人材	<p>○業務上、数字に強いこと（算数の基礎）は必要。</p> <p>○工作機械を扱うので、機械の基礎知識があれば望ましい。</p> <p>○研究開発を海外と共同でやっているため、専門性、基礎的学力以外にも、英語力が必要となってきた。</p> <p>○本事業所では専門性のある、一つの技術を極めていく、いわゆる「職人さん」を望んでいる。</p>	<p>○コミュニケーション能力がある人。</p> <p>○根気強さ、粘り強さがある人。</p> <p>○安全管理の面でけがをさせたくないなので強い指導をすることがあるが、その指導をきちんと受け止められる人。</p> <p>○機械化が進み、単純な技能の仕事ではあるが、機械の準備やトラブル時の対応を報告、連絡、相談を行いながら、自分で考えてやれる人。</p> <p>○機械の保全や組み立ては自社で行うほうが望ましく、その専門知識（機械、電気）を持った人を欲しい時がある。欲を言えば両方だが、どちらかの知識でもあれば、片方は入社後に学べる。</p>	<p>○人権を尊重できる人。</p> <p>○人の生活を大切にしていける人（入所者はここで亡くなる人がほとんどなので、最後まで看取っていくことを踏まえて）。</p> <p>○人が好きであり、接遇面で基本的なことがやれている人。</p>	<p>○情報の取捨選択ができる人。</p> <p>○好奇心の幅がある人。創造力がある人。</p> <p>○最近は海外からの宿泊客に対応できる英語力が必要だと感じている。</p>
新高校に対する期待	<p>○工業科は是非残してもらいたい。工業科に求めるものは専門性である。</p>	<p>○工業部門の専門的なことが学べる場は必要である。専門性が薄くならないことを希望する。</p>	<p>○人間関係やコミュニケーションが学べるカリキュラムがあればと思う。</p> <p>○嬉野高校の福祉系列を維持してもらえるとありがたい。</p>	<p>特になし</p>
その他	<p>○学校では、マナーがしっかりした打たれ強い人を育ててほしい。</p>	<p>○ものづくりは人づくりであり、製品の品質を維持、向上させるため、社内に教育専門の部署を設けた。</p> <p>○最近の若い世代は打たれ弱い。また、連帯感が薄く、自分たちだけが楽しければという感じである。</p>	<p>○最近はコミュニケーション能力が低い若い人が多く、大きな集団に入っていけない人もいる。</p> <p>○福祉関係の人材のニーズは県内でも地域によって違う。やめた後の補充が難しく、充足しているかといえはしていない。福祉業界は勤務の厳しさや給与面とのアンバランスがあるため、福祉関係の求職者は減っている。</p> <p>○嬉野市は若い人が出ていくことが多い。雇用の場があれば若い人たちは残っていくと思う。</p>	<p>○旅館業は仕事をしながら学んでいくため、入社後はいろいろな部署を経験させる。</p> <p>○旅館業で「親切心」は必要である。</p> <p>○学校では「長幼の序」「言葉づかい」についてもう少し教育してほしい。</p>



## 2 学科構成に関する他県の事例（学校視察報告）

<学校視察> 訪問日：平成 27 年 12 月 2 日 長野県佐久平総合技術高等学校  
 12 月 3 日 長野県中野立志館高等学校  
 訪問者：塩田工業高等学校 2 名、嬉野高等学校 2 名、  
 県立高校再編整備推進室 1 名 計 5 名

### (1) 工業科と総合学科を併置している高校

#### 長野県佐久平総合技術高校

沿革等

H27.4 北佐久農業高等学校（栽培システム科、生物サイエンス科、食品サービス科） 臼田高等学校（普通科、グリーンライフ科、デザイン科） 岩村田高等学校工業科（機械科、電子機械科、電気科）が統合。キャンパス制（校舎制）。浅間キャンパスと臼田キャンパス間の距離は約 10km（塩田工業高等学校と嬉野高等学校間とほぼ同距離）。

学科と H27 募集定員

学科構成・学級数・定員（1 学年あたり）

キャンパス(校舎)	学科		学級数	定員
浅間キャンパス	農業科	栽培システム科	3 学級	120 人 (くくり募集)
		生物サイエンス科		
		食品サービス科		
	工業科	機械システム科	1 学級	40 人
		電気情報科	1 学級	40 人
キャンパス合計			5 学級	200 人
臼田キャンパス	創造実践科		2 学級	80 人
キャンパス合計			2 学級	80 人
学校全体			7 学級	280 人

平成 28 年度募集から、農業科は食料マネジメント科、生物サービス科、食農クリエイト科になる。

コース・系列（農業科、工業科は 2 年次からコースの選択）

栽培システム科 ・環境技術コース ・野菜技術コース ・草花技術コース  
 生物サイエンス科 ・動物活用コース ・乳肉加工コース  
 食品サービス科 ・食品科学コース ・食品活用コース  
 機械システム科 ・加工技術コース ・メカトロニクスコース  
 電気情報科 ・電力技術コース ・情報技術コース  
 創造実践科（総合学科） ・生物環境系列 ・デザイン系列 ・文理医療系列

## 進路状況（H27.3月卒業生）

H27 開校のためデータなし

<参考> 旧佐久農業高等学校、旧臼田高等学校...進学者と就職者がほぼ半数。  
旧岩村田高等学校工業科...約7割が進学。

## 学校側からの説明概要

### <学科関係について>

3校の統合については、平成25年度から学科を改編しながら準備を進めた。旧校（旧学科）はすべて平成26年度で閉じ、新高校開校の今年度から2・3年生も新高校在籍（一斉統合）という形をとっている。これは工業科の施設利用の関係（別々の校地では指導が行いにくい）という面があったためである。なお、工業棟を浅間キャンパスに新設した。

「大学科連携」「キャンパス間連携」はキャンパス制を行うにあたっての基本コンセプトである。1年次には「産業基礎・ 」という農業、工業の両方の内容をローテーションで学んでいく基礎科目を設置している。今後は創造実践科の「産業社会と人間(総合学科の原則必履修科目)」との連携も予定している。キャンパス間の連携については、例えば臼田キャンパスでデザインを学んでいる生徒から、工業製品の作成を浅間キャンパスに依頼するという形である。

小学科を減らしていくためには、小学科を統合し「コース」を設けていくことが有効である。長野県はこの方向である。

高校入試では学科を越えた第2志望は可能である。

### <その他>

遠隔教育を導入しており、今年度から文科省の「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」指定校である。遠隔システムは教育活動のいろいろな場面で利用することができ、授業だけでなく、今後は放課後補習などでも利用していく予定である。

浅間キャンパス(工業科、農業科)は学年制、臼田キャンパス(創造実践科)は単位制である。

H24からの3年間は旧3校間で15のワーキンググループを設け、それぞれのグループに各校から2人ずつ参加の形で新高校の内容について検討を行った。

校名については公募を行った。旧3校の名前には無い「佐久平」という新幹線の駅名を使い、教育内容から「総合」と「技術」という言葉を使った。通称は「佐総(さっそう)」である。

校章については、選定委員として生徒も入り、検討を行った。

教育課程表（工業科、創造実践科）

工業科

工業科（平成25・26・27年度入学生適用）

教科	科目	標準 単位数	機械システム科										電気情報科													
			2年			3年				合計			2年			3年				合計						
			1年	必修	加工 技術 コース	メカト ニクス コース	必修	加工 技術 コース	メカト ニクス コース	選択	加工 技術 コース	メカト ニクス コース	1年	必修	電気 技術 コース	情報 技術 コース	必修	電気 技術 コース	情報 技術 コース	選択	電気 技術 コース	情報 技術 コース				
各 学 科 に 共 通 す る 教 科 ・ 科 目	国語	国語総合	4	3						3	3	3									3	3				
		現代文B	4		2			2			4	4		2			2					4	4			
	地歴	世界史A	2		2						2	2		2								2	2			
		地理A	2	2							2	2	2									2	2			
	公民	現代社会	2					2			2	2				2					2	2				
	数 学	数学Ⅰ	3	3							3	3	3									3	3			
		数学Ⅱ	4		3						3	3		3								3	3			
		数学Ⅲ	5							4	0・4	0・4								4	0・4	0・4				
		数学A	2	1	1						2	2	1	1								2	2			
		数学B	2					2			2	2				2						2	2			
	理 科	科学と人間生活	2	2							2	2	2									2	2			
		物理基礎	2		2						2	2		2								2	2			
		物理	4					3			3	3				3					3	3				
	保 健 体 育	体育	7~8	2	2			3			7	7	2	2			3					7	7			
		保健	2	1	1						2	2	1	1								2	2			
	芸 術	音楽Ⅰ	2	} 2							} 2	} 2	} 2									} 2	} 2			
		美術Ⅰ	2																							
		書道Ⅰ	2																							
	外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3							3	3	3									3	3			
コミュニケーション英語Ⅱ		4		2		2				4	4		2		2						4	4				
家 庭	家庭基礎	2		2						2	2		2								2	2				
小 計 1			19	17			14					19	17			14										
主 と し て 専 門 学 科 に お い て 開 設 さ れ る 各 教 科 ・ 科 目	工業	工業技術基礎	2~4	3						3	3	3									3	3				
		実習	4~12		3			3			6	6	3			3					6	6				
		製図	2~12	2	2			3			7	4				2					2	2				
		課題研究	2~6					3			3	3				3					3	3				
		情報技術基礎	2~6	2							2	2	2									2	2			
		生産システム技術	2~8		2						2	2														
		機械工作	2~8	2		2					4	2														
		機械設計	2~8		2			3			5	5														
		原動機	2~4								2	0・2	0・2													
		電気基礎	2~9										4	2								6	6			
		電気機器	2~6												2					4		2・6				
		電力技術	3~8												2			4				6				
		電子技術	2~6											2								2	2			
		プログラミング技術	2~6													2				2		2・4				
		材料加工	2~6							2	0・2															
		コンピュータシステム技術	2~8																		2		0・2			
		*シーケンス基礎					2			1	2		3・5													
		*メカトロ製図								2			2													
		*デジタル回路技術														2							2			
		*マイコン制御基礎																4					4			
	*植物工場																		2			0・2				
※産業 技術	*産業基礎		2							2	2	2									2	2				
	*環境地域基礎			2						2	2		2								2	2				
小 計 2			11	11	2	2	9	3	3	4			11	9	4	4	8	4	4	4						
ホームルーム活動			3	1	1			1				3	3	1	1		1					3	3			
合 計 (小計1+小計2+HR)			31		31		31			93	93	31		31		31					93	93				

備考 「情報」は「情報技術基礎2~3単位」で、「総合的な学習の時間」は「課題研究3単位」で代替  
※印は学校設定教科、\*印は学校設定科目

## 創造実践科

	単位数	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30																												
		1 年次	共通		国語総合		地理A		数学I		科学 と 人間 生活		化学基礎		体育		保健		芸術		コミュニケーション 英語II		家庭総合		社会と情報		自己探究		進路と社会と人間	
2 年次	生物環境系列									科学 と 人間 生活		生物基礎		数学II/数学A		コミュニケーション 英語II		農業と環境		総合実習		生物活用		環境と生物/ 測量						
	デザイン系列	現代文B		世界史A		保健		体育		家庭総合		キャリア ミドル		物理基礎		数学II/数学A		コミュニケーション 英語II		工業技術基礎		デザイン図画		デザイン史		デザイン技術		選択	HR	
	文理医療系列											物理基礎/生物基礎		数学II		コミュニケーション英語II				古典A+国語表現/ 古典B+日本文B/化学				芸術II 医療と職業						
3 年次	生物環境系列									グリーンライフ/ 環境創成科		食品製造/ フラーデザイン		森林科学/造園計画		総合実習		課題研究												
	デザイン系列	現代文B		現代社会		体育		キャリア チャレンジ		デザイン図画		デザイン材料		工業技術基礎		実習		課題研究						選択				HR		
	文理医療系列									数学III+数学3/国語表現・メディア表現 ・医療計数学・数学研究・英語学探究				英語表現I		古典B+日本文B/ 生物/物理														

### (2) 総合学科に工業系系列を持つ学校

#### 長野県中野立志館高等学校

##### 沿革等

H19.4 中野実業高等学校（商業科、工業科（機械科、電気科、土木科））、中野高等学校（普通科）を統合し、総合学科とする。校地は旧中野実業高等学校。

##### 学科とH27 募集定員

###### 学科構成・学級数・定員（1学年あたり）

課程	学科	学級数	定員
全日制	総合学科	6学級	240人
定時制	普通科	1学級	40人

###### 全日制総合学科系列（5系列）

人文科学系列（国語・地理歴史・公民・英語・芸術 科目群）

自然科学系列（数学・理科 科目群）

生活科学系列（体育・家庭・福祉 科目群）

商業実践系列（商業・情報 科目群）

生産技術系列（工業・農業 科目群）

## 進路状況（H27.3月卒業生）

大学		短大		専門 学校	就職・その他
国公立	私立	国公立	私立		
0	25	0	10	72	105

<主な進学先> 明治大、専修大、東京農業大、日本福祉大、長野大、立命館大 等

<主な就職先> 機械、電気、建設、食品製造、販売、福祉 等

## 学校側からの説明概要

### <学科関係について>

開校当初は県教委の指導で9系列あったが、科目選択にゆりい縛りをかけていくことで、現在の系列数（5系列）となった。ゆりい縛りをかけているのは、何の科目を選択していいのかわからない生徒もあり、その目安とするためであった。

就職は県外に行く者がほとんどいない。系列を選択している人数も地域ニーズ（企業がかなり減ったので）に対してはちょうどいい数となっている。

1年次はほとんどが必修科目の設定であり、専門学科高校から赴任した専門教科の職員には早くから専門科目を履修させたいというジレンマがある。

生産技術系列の選択科目に農業系の科目が一部含まれているのは、開校当初の地元の要望である（旧中野実業高校の前身は農業科を持つ私立高校だった）。観光については、商業実践系列の中で学ぶことができ、長野大学と連携した教育活動を行っている。

総合学科として限られた時間、人材の中で成果を上げるには「絞り込み」しかない。そのためには、柔軟な発想で教科横断型の科目を設定していくことも考えなければならない。例えば福祉科と工業科の教員が担当するバリアフリーに関する授業など、学校設定科目を作ってもよい。

時間割上の制約があるものの、生徒には少人数での手厚い指導ができることが総合学科の良い面であると思っている。

学区内では、工業科ではくくり募集を行っていくという方向になっている。学科としては小学科を統合し、コースで細分化していくという方法をとることが今の長野県の発想である。

### <その他>

今年10月に産業教育審議会（長野県）でまとめられた答申の中で、高校側は汎用的学力を育て、実践的な面は企業側の教育にゆだねるという方向性が出た。本校もその方針である。

校名については、公募が行われた。中野市は唱歌「ふるさと」の作詞者高野辰之氏の出身地であり、歌詞3番の「志を果たして いつの日にか帰らん」という部分（＝立志）が採用された。

教育課程

総合学科(専門科目のみ)

教育課程表 (平成27年度入学生適用)

学校番号		5		中野立志館高等学校		全日制課程		総合学科		
教科	科目	標準 単位数	1年		2年		3年		合計	備考
			必修	選択	必修	選択	必修	選択		
農 業	植物バイオテクノロジー	2~8			2		2		2	
	生物活用	2~6			4		4		4	
	課題研究	2~6					4		4	
	実習	2~16			4		4・8		4・8・12	
	製図	2~12			2		2・4・6		2・4・6	
	工業教理基礎	2~6			2				2	
	情報技術基礎	2~6			2		2		2	
	生産システム技術	2~8			2		2		2	
	機械工作	2~8			2		2		2	
	機械設計	2~8			2		2		2・4	
	原動機	2~4			2		2		2	
	自動車工学	2~8			2		2		2・4	
	電気基礎	2~10			4				4	
	電気機器	2~6					2		2	
	電力技術	2~8					4		4	
	電子回路	2~8					4		4	
	建築構造	2~6			2				2	
	建築計画	2~8			2				2	
	建築構造設計	2~8					2		2	
建築施工	2~6					2		2		
測量	2~8			2				2		
土木基礎力学	2~10			2				2		
土木施工	2~8					2		2		
社会基盤工学	2~4					2		2		
※電気実習				4		4・8		4・8・12		
工 業	ビジネス基礎	2~4			2				2	
	課題研究	2~8					2		2	
	総合実践	2~6					2		2	
	ビジネス実務	2~6			2		2		2	
	マーケティング	2~6			2		2		2	
	商品開発	2~8			2				2	
	広告と販売促進	2~6					2		2	
	ビジネス経済	2~4					2		2	
	経済活動と法	2~4			2		2		2	
	簿記	2~8			4		4		4	
	財務会計Ⅰ	2~6			2				2	
	財務会計Ⅱ	2~6					2		2	
	原価計算	2~6					4		4	
	情報処理	2~8			4				4	
	ビジネス情報	2~8					2		2	
	電子商取引	2~6			2		2		2	
	プログラミング	2~8			4				4	
	ビジネス情報管理	2~6					2		2	
	※秘書事務						2		2	
※信州の観光				2		2		2		
家 庭	子どもの発達と保育	2~6			2		2		2	
	ファッション造形基礎	2~6			4		4		4	
	服飾手芸	2~4					4		4	
	フードデザイン	2~6			2				2	
	調理	2~16					2		2	
福 祉	社会福祉基礎	2~6			2		2		2	
	介護福祉基礎	2~6			2		2		2	
	コミュニケーション技術	2~4			2		2		2	
	生活支援技術	2~12					4		4	
	介護総合演習	2~6					2・4		2・4	
※総合音楽Ⅰ				2		2		2		
※総合音楽Ⅱ						2		2		
※実材造形Ⅰ				2		2		2		
※実材造形Ⅱ						2		2		
※総合造形				2		2		2		
※実用書道						2		2		
※インテリア書道						2		2		
※彫る書				2		2		2		
* 教養	産業社会と人間	2~4	3						3	
	※教養				1				1	
	※援助のための心理学 ※心の健康のための心理学						2		2	
* 校外学 習活動	※就業体験		1		1		1		1・2・3	
各教科・科目の単位数計			29		28		28		85	
[総合的な学習の時間]		3~6			1		1		2	
ホームルーム活動		3	1		1		1		3	

注1 ※印は学校設定教科、※印は学校設定科目  
 注2 「総合的な学習の時間」は、実施時間数を1750分(50分×35回)を1単位として換算した単位数を記載



## 2・3年次 進路別の科目選択例

### 1 4年制大学文系に進学を希望

(人文科学系列)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年次	現代文α		世界史B		体育	保健	化学基礎	地学基礎	コミュニケーション英語Ⅱ				国語表現	古典α			英語表現Ⅰ			数学Ⅱ			数学B	総合	LHR					
3年次	現代文β	現代社会		体育	古典β	評論文読解	小論文	数学研究A					コミュニケーション英語Ⅲ				英文読解			日本史B			総合	LHR						

### 2 4年制大学理系に進学を希望

(自然科学系列)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年次	現代文α		世界史B		体育	保健	物理基礎	化学基礎	コミュニケーション英語Ⅱ				古典α			数学Ⅱ			数学B			英語表現Ⅰ	政治・経済	総合	LHR					
3年次	現代文β	現代社会		体育	古典β		数学Ⅲ	数学研究B					コミュニケーション英語Ⅲ			物理			化学				総合	LHR						

### 3 福祉系に進学や就職を希望

(生活科学系列)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年次	現代文α		世界史B		体育	保健	化学基礎	地学基礎	基礎英語			数学Ⅱ				日本史B			社会福祉基礎	介護福祉基礎	コミュニケーション技術	総合	LHR							
3年次	現代文β	現代社会		体育		生物		化学			生活支援技術	介護総合演習Ⅰ	こころからの理解						進路に必要な科目			総合	LHR							

### 4 商業系に進学や就職を希望

(商業実践系列)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年次	現代文α		世界史B		体育	保健	科学と人間生活	コミュニケーション英語Ⅱ			数学Ⅱ			ビジネス基礎	文書処理α			簿記α	財務会計Ⅰ	総合	LHR									
3年次	現代文β	現代社会		体育	総合実践	広告と販売促進	マーケティング	経済活動と法	財務会計Ⅱ		原価計算			課題研究			進路に必要な科目			総合	LHR									

### 5 機械系に就職を希望

(生産技術系列)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2年次	現代文α		世界史B		体育	保健	物理基礎	化学基礎	基礎英語		数学Ⅱ			機械実習Ⅰ			機械製図基礎	機械工作	機械設計Ⅰ	総合	LHR									
3年次	現代文β	現代社会		体育	数学研究D		機械実習Ⅱ	機械実習Ⅲ			課題研究・ものづくり			機械製図応用	機械設計Ⅱ	生産システム技術	原動機			総合	LHR									



<参考> 総合学科に工業系系列を設置している学校

**佐賀県立多久高等学校**

内容は多久高等学校ホームページ及び H27 学校要覧による。

沿革

H14.4 多久工業高校工業科（機械科、情報システム科、電気科）を総合学科に改編。

学科と H27 募集定員

学科構成・学級数・定員（1 学年あたり）

課程	学科	学級数	定員
全日制	総合学科	4 学級	160 人

総合学科系列（6 系列）

自然科学系列

人文科学系列

健康福祉系列

商業ビジネス系列

マルチメディア系列

工業技術系列

進路状況（H27. 3 月卒業生）

合学科	卒業生数	進学					就職										その他
		大学	短大	専修学校	計	学校推薦						公務員	縁故	自営	計		
						関東	中京	関西	中国	九州	県内						
男子	78	14	4	13	31	7	12	3	4	0	21	0	0	0	47	0	
女子	80	7	9	27	43	6	2	1	2	2	23	0	0	0	36	1	
計	158	21	13	40	74	13	14	4	6	2	44	0	0	0	83	1	

注(1)※看護学校及び就職の両方合格者は進学(専修学校)でカウント

【大 学】

西九州大学 九州情報大学 近畿大学 久留米大学 久留米工業大学 日本経済大学  
 中村学園大学 福岡工業大学 福岡女学院大学 活水女子大学 日本文理大学 創価大学

【短期大学】

九州龍谷短期大学 佐賀女子短期大学 西九州大学短期大学部 福岡こども短期大学  
 芦屋学園短期大学

【県内企業】

伊藤ハムウエスト(株) 医療法人松籟会 大西工業(株) 小城市民病院 (株)かわでん佐賀営業所 (株)九州コーユー (株)九州友成機工 (株)協和製作所 金方堂松本工業(株) 特別養護老人ホーム桂寿苑 佐賀記念病院 (株)サガシキ 佐賀テクノサービス 社会福祉法人 麗風会・桜の園 (株)佐電工 (株)SUMCO 副島病院 多久製網(株) テラル多久(株) (株)東和コーポレーション (株)戸上電機製作所 (株)戸上デンソー (株)名村造船所 日東工業(株)唐津工場 日本郵便(株)九州支社 (株)ハイ・フォーレ (株)ヒカリ多久工場 肥前通運(株) ホンダカーズ佐賀(株) (株)増田羊羹本舗 松尾建設(株) ミナノ精工(株) 特別養護老人ホームめづら荘 ヤマキ製菓(株) 相知工場 (株)リョーユーパン 唐津工場 (株)ワイビーエム

【県外企業】

アイセロ化学(株) (株)イズミ (株)エコ・プラン (株)王将フードサービス 加藤精工(株) 山王テック(株) JFE スチール(株)西日本製鉄所・倉敷地区 JFE メカニカル(株)西日本事業所 JFEスチール(株)東日本製鉄所 (株)ジェイテクト 名古屋本社 敷島製パン(株) 新日本無線(株) 敷島製パン(株) 住友精密工業(株) ダイハツ工業(株) 竹田設計工業(株) (株)デンソー 東京急行電鉄(株) トシン電機(株) トヨタ自動車(株) トヨタ自動車九州(株) (株)西島製作所 中日本鑄工(株) 西川ゴム工業(株) (株)にしけい 日産自動車(株) 日本冶金工業(株)川崎製造所 日野自動車(株) マツダ(株) 山崎製パン(株) (株)UACJ 名古屋製造所 (株)鰐部製作所



教育課程表 (H27) 選択科目のみ

選択科目一覧表

佐賀県立多久高等学校

系 列	総合選択科目														自由選択科目									
	基礎科目						基礎以外の科目								教科	科目	標準 単位数	選択学年			合計	備考		
	教科	科目	標準 単位数	1 年	2 年	3 年	合計	備考	教科	科目	標準 単位数	1 年	2 年	3 年				合計	備考					
人文 科学 系列	国語	国語表現	3	2	2	2	4	※	地歴	世界史B	4	4	4	8	※	国語	郷土芸能	2-6	2	2	2	4	6	学設
		現代文B	4	2	3	2	4	7		※	地理B	4	4	4	8		※	論語の世界	2-4	2	2	2	2	学設
		古典A	2	2	2	2	2			公民	現代社会	2	2	2	2		地理	郷土の歴史 と文化	2-4	2	2	2	2	学設
	外国語	英語会話	2	2	2	2	2	☆	外国語	英語表現Ⅰ	2	2	2	2	4	※	理科	佐賀の科学 技術と自然	2-4	2	2	2	2	学設
			コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	4	2	4		※	保体	レクリエー ション指導	2-4	2	2	2		2	学設					
			コミュニケーション英語Ⅲ	4	4	4	4	4				スポーツクラ イミング入門	2-4	2	2	2		2	学設					
			数学Ⅱ	4	4	4	4	4		※	数学	数学Ⅲ	5	6	6	6			芸術	音楽Ⅰ	2	2	2	2
	数学A	2	2	2	2	2	☆	理科	総合数学	4	4	4	4	学設	音楽Ⅱ	2	2	2		2	2			
	数学B	2	2	2	2	2	※	物理	物理	4	4	4	4		音楽Ⅲ	2	2	2		2	2			
	化学基礎	2	4	2	2	4	※	化学	化学	4	4	4	4		美術Ⅰ	2	2	2		2	2			
生物基礎	2	2	2	2	2		生物	生物	4	4	4	4		美術Ⅱ	2	2	2	2		2				
物理基礎	2	2	2	2	2									美術Ⅲ	2	2	2	2		2				
自然 科学 系列	福祉	社会福祉基礎	2-6	2	2	4	☆	福祉	介護総合演習	2-16	1	1	2	※	家庭 福祉 音楽 美術	製菓	2-12	2	2	2	2	学設		
		介護福祉基礎	2-6	3	3	3			介護実習	4-6	1	1	2	※		手話	2-5	2	2	2	学設			
		生活支援技術	2-12	4	3	7	※		手話	2-4	2	2	2	学設		音楽コミュニ ケーション	2-6	2	2	2	学設			
		こころとからだの理解	2-12	3	2	5	※		家庭	子どもの発 達と保育	2-6	4	4	4			素描	2-6	2	2	2	2		
商業 ビジ ネ ス 系 列	商業	ビジネス基礎	2-4	2	3	5	☆	商業	総合実践	2-6	4	4	4		工業	クラフトデ ザイン	2-6	2	2	2	2			
		経済活動と法 簿記	2-4	2	2	2			商品開発	2-4	2	2	2			ビジュアル デザイン	2-6	2	2	2	2			
		情報処理	2-5	6	6	6			ビジネス情報	2-4	4	4	4			デザイン技 術	2-8	2	2	2	2			
			2-4	6	6	6			電子商取引	2-4	4	4	4											
マル チ メ デ ィ ア 系 列	工業	工業技術基礎	2-6	2	2	2	☆	工業	実習	2-18	3	4	7	※	工業	実習	2-18	4	4	8	※			
		製図	2-10	2	2	2	4		※	電子回路	2-8	2	2	4		※	電気機器	2-8	2	2	2			
		電気基礎	2-8	2	2	4	※		プログラミング 技術	2-8	2	2	4	※		電力技術	2-8	2	2	2				
		デザイン技術	2-8	2	2	2			マルチメディア 総合実習	2-8	2	2	2	学設										
工業 技 術 系 列	工業	工業技術基礎	2-6	2	2	2	☆	工業	実習	2-18	4	4	8	※										
		製図	2-10	2	2	4	※																	
		機械工作	2-8	2	2	2	4		※															
		機械設計	2-8	2	2	2	4		※															
	電気基礎	2-8	3	2	5	※																		

(注) 備考欄に※印がついている科目は、原則として継続履修する科目である。また、☆印がついている科目は、1年次の年度後半に2単位集中して実施する科目である。

「現代文B」は、系列によって履修する単位数が異なる。

「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」については、1年次に選択履修した場合、2・3年次に選択履修することは認めない。

「介護実習」は、2年次の1単位(35h)ずつ、3年次の7月に1単位(35h)、集中して校外実習を実施する科目である。

「総合数学」は自然科学系列の科目を中心に履修する者で、医療系の進学を目指す者が4単位履修することになる。

「数学A」は商業ビジネス系列の科目を中心に履修する者が2・3年次に継続履修することになる。

人文・自然系列の科目を中心に履修する者は2年次に「コミュニケーション英語Ⅱ」、3年次に「コミュニケーション英語Ⅲ」を履修することになる。

人文・自然以外の系列の科目を中心に履修する者は「コミュニケーション英語Ⅱ」を2・3年次に継続履修することになる。

### 3 学科に関する他県の事例（福祉・保育関係）

#### (1) 保育の教育内容を持つ高校の例

保育を学科として設置している学校	学科名	H28募集定員(人)
埼玉県立鴻巣女子高等学校	保育	40
福岡市立福岡女子高等学校	保育福祉	40

保育を福祉科でコースとして設置している学校	学科(コース)名	H28募集定員(人) <福祉科全体>
岐阜県立岐阜各務野高等学校	福祉(子ども福祉)	40
三重県立伊賀白鳳高等学校	ヒューマンサービス(生活福祉)	※280

※伊賀白鳳高等学校は7学科でのくくり募集。

保育を総合学科で系列として設置している学校	系列名	H28募集定員(人) <総合学科全体>
埼玉県立誠和福祉高等学校	保育・幼児教育	120
静岡県立天竜高等学校	生活・保育	160
滋賀県立甲南高等学校	福祉と保育	120
大阪府立枚岡樟風高等学校	福祉・保育	240
大阪府立長吉高等学校	スポーツと教育	210
兵庫県立明石南高等学校	看護・保育・福祉	280
兵庫県立太子高等学校	子どもと暮らし	240
兵庫県立有馬高等学校	生活と健康(保育含む)	200
和歌山県立和歌山高等学校	保育	200
奈良県立二階堂高等学校	子どもと暮らし	200
沖縄県立嘉手納高等学校	保育	240

(2) 他県の高校の事例

**福岡市立福岡女子高等学校**

内容は福岡女子高等学校ホームページによる。

沿革等

- T14.5 実業学校令による福岡市立第一女学校設立認可。
- S23.4 学制により福岡市立第一女子高等学校となる。
- S25.4 保育科設置。
- S26.1 福岡市立福岡女子高等学校と改称。
- H 6.4 保育福祉科に改編。

学科と H27 募集定員

学科構成・学級数・定員（1学年あたり）

課程	学科	学級数	定員
全日制	服飾デザイン科	1学級	40人
	食物調理科	1学級	40人
	保育福祉科	1学級	40人
	生活情報科	1学級	40人
	国際教養科	1学級	40人
	普通科	3学級	120人
学校全体計		8学級	320人

保育福祉科の内容（学校ホームページより抜粋）

**カリキュラム（教育課程）**

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年次	国語		社会	数学	体育	保健	芸術	英語	家庭 (共通科目・専門科目)										L	総学											
2年次	国語	社会	数学	理科	体育	保健	英語	家庭 (専門科目)						選択Ⅰ	選択Ⅱ	L	総学														
3年次	国語	社会	理科	体育	英語	家庭 (共通科目・専門科目)										選択	L	総学													

家庭共通科目

- <1年次>生活デザイン(4)、生活産業基礎(2)、生活産業情報(2)
- <3年次>課題研究(3)

2年選択Ⅰ（英語、簿記、和服製作、保育から）

2年選択Ⅱ（商業、情報、家庭から）

3年選択（社会、数学、英語、商業、情報、家庭から）

家庭専門科目

- <1年次>表現技術(3)
- <2年次>子どもの発達と保育(3)、レクリエーション実習(2)、表現技術(2)、生活と福祉(2)
- <3年次>子どもの発達と保育(3)、表現技術(4)、生活と福祉(3)

## こころふれあうよろこび、共に生きるよろこび

### 保育福祉科の目標

保育や福祉の基礎的知識と技術を学び、少子高齢社会に対応できる能力と主体的実践的態度を身につけます。また、子ども・高齢者・障がい者も共に生き、すべての人が快適に安心して住める社会をつくる担い手になることを目指します。

### 保育福祉科の特色

保育・福祉の分野の両方を学びます。また、保育・福祉系の大学・短期大学・専門学校などへの進学も目指したカリキュラムになっています。ピアノやレクリエーションは専門の講師から学びます。

### 取得資格

#### ①保育技術検定

将来、保育や福祉の現場で役に立つ能力や実践的態度を養います。表現技術や家庭看護技術及びコミュニケーション技術に関する4種目の検定です。

- 音楽・リズム表現技術(ピアノ演奏、歌唱、弾き歌いなど)
- 造形表現技術(折り紙・描画、貼り絵、壁面構成など)
- 言語表現技術(紙芝居、絵本の読み聞かせ、創作童話など)
- 家庭看護技術(着替え、おむつ替え、清拭、包帯など)

#### ②ビジネス文書実務検定

#### ③レクリエーション・インストラクター

### 学科のQ & A

Q：ピアノは初めてなのですが、授業についていけるのでしょうか？

A：表現技術のピアノの授業では、基礎から学習するので、初心者でも大丈夫です。

また、朝・昼休み・放課後にはピアノ室（個室のピアノ10台）+ピアノ5台を開放しておりますので、自分でしっかり予習・復習してください。

Q：将来、保育士になりたいのですが、福祉の専門科目も学習するのですか？

A：はい。保育士や幼稚園教諭を目指す人でも福祉の専門科目を学習します。

子ども、高齢者、障がい者などすべての人々について勉強することにより、人を理解する姿勢や態度を身につけていきましょう。

Q：卒業と同時に保育士や幼稚園教諭または介護福祉士になれるのですか？

A：いいえ。高等学校卒業後、4年制大学・短期大学・専門学校などに進学して、資格（免許）を取得しないとれません。

Q：卒業生は、どのような所に進学しているのですか？

A：保育・福祉系の4年制大学・短期大学・専門学校に進学しています。短期大学で保育士・幼稚園教諭を取得後、さらに、介護福祉士の資格を取得しようと専攻科に進んだり、短期大学から4年制大学への編入を果たしたりした卒業生もいます。



沿革等

H17.4 岐阜県立各務原東高等学校（普通科）と岐阜県立岐阜女子商業高等学校（商業科、経理科、情報処理科、国際ビジネス科）が統合。

学科とH27 募集定員

学科構成・学級数・定員（1学年あたり）

課程	学科	学級数	定員
全日制	ビジネス科	5学級	200人
	情報科	1学級	40人
	福祉科	1学級	40人
学校全体計		7学級	280人

福祉科の内容（学校ホームページより抜粋）

福祉科の特徴

介護福祉士国家試験合格率100%

介護福祉士は、国家資格で介護の最高の資格です。高校生で国家資格が取得できることは、他の学科にはない魅力です。最も低年齢で、料金も安く取得できます。高齢者施設や障がい者施設からの信頼も厚く、就職率も100%です。

介護や保育について専門的に学べます

1年生は共通の科目を学びます。介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）取得にも挑戦しています！！1年生で介護の現場で働ける資格の課程を修了しますので、保育系の上級学校へ進学しても、万が一、介護福祉士の国家試験が不合格であっても、介護職員としていつでも就職できます。2年生からは「介護」か「保育」のフィールドを選択し、より専門的な学習が始まります。

カリキュラム

■ 専門科目です。

ケアワーカーフィールド（介護の専門的な知識や技術を学習）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	国語総合	現代社会	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	音楽Ⅰ	英語Ⅰ	家庭基礎	社会福祉基礎	福祉情報活用	生活支援技術	介護総合演習	こころからの理解	介護実習	HR																	
2年	国語総合	世界史A	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	介護福祉基礎	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	こころからの理解	介護実習	HR																		
3年	現代文A	【選択】 日本史A / 地理A	数学A	体育	コミュニケーション英語Ⅱ	介護福祉基礎	生活支援技術	介護過程	介護総合演習	こころからの理解	介護実習	HR																					

子ども福祉フィールド（子どもの保育に必要な専門的な知識や技術を学習）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	国語総合	現代社会	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	音楽Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	社会福祉基礎	福祉情報活用	生活支援技術	介護総合演習	こころからの理解	介護実習	HR																	
2年	国語総合	国語表現	世界史A	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	生活支援技術	介護総合演習	介護実習	子どもの発達と保育	子ども文化	フードデザイン	保育音楽	HR																	
3年	現代文A	【選択】 日本史A / 地理A	数学A	体育	コミュニケーション英語Ⅱ	子ども文化	フードデザイン	保育音楽	保育技術	課題研究	HR																						

※1～33までの数字は単位数を示しています。1日6時間の授業を1週間（5日）実施すると、30単位になります。福祉科では、国家資格「介護福祉士」認定のため、単位数がやや多めになっています。

## ★岐阜各務野高校福祉科はどんな学科なの？

福祉の心と幅広い福祉サービス技能をもち、社会に必要とされる人材育成を目指しています！  
3年間で自分の進路が確実なものになるよ！

1年生でヒューマンサービスの基礎を学び、障がい者の施設実習や高齢者施設での実習があります。  
介護職員初任者研修（旧・ホームヘルパー2級）を受講し、全員が資格取得に向けて励みます。  
また、大学と提携しているので専門的な技術が学べます！（高大連携事業）

2年生から自分の進路に沿ってフィールドを選択します  
「目指す所」が違うから目標もさまざま！

### ❁ケアワーカーフィールド（介護士として即戦力！）

高齢者や障がい者の介護に必要な専門的な知識や技術を学びます。

#### 《主な進路》

福祉系施設への就職、福祉・医療系の短期大学、大学、専門学校、看護専門学校への進学ができます！

#### 《主な学習内容・講習会》

社会福祉基礎、生活支援技術（医療的ケア含む）、介護福祉基礎、介護実習、こころとからだの理解、点字講習会、手話、絵手紙、レクリエーションなど

### ❁子ども福祉フィールド（将来は保育士幼稚園教諭に！）

福祉を核に保育に必要な専門的な知識や技術を学びます。

#### 《主な進路》

保育系、福祉系の短期大学、大学、各種専門学校へ進学できます

#### 《主な学習内容・講習会》

児童文化、保育技術、フードデザイン、手作り絵本、保育実習、折り紙、人形劇、パネルシアター、読み聞かせ講習会など

## 5. 在学中に取れる資格（受験資格を含む）

取ってこそその資格！学習の成果を確かめるにも、資格取得は大きな目標です！  
高大連携事業での受講時間は進学後に単位として認められます！（中部学院大学）

### 《ケアワーカーフィールドで取得可能な資格》

- 介護福祉士国家試験受験資格（在学中に受験）
- 介護職員初任者研修（旧：ホームヘルパー2級）受講
- ビジネス文書実務検定3級、2級（希望者）
- 食物調理検定4級
- 被服製作検定4級
- 上級救命講習修了

### 《子ども福祉フィールドで取得可能な資格》

- 保育検定1級
- 食物調理検定2級
- 被服製作検定4級
- ビジネス文書実務検定3級、2級（希望者）
- 介護職員初任者研修（旧：ホームヘルパー2級）受講
- 上級救命講習修了

## 4 塩田工業高校と嬉野高校の学科の内容

### 塩田工業高校

#### 【機械科】

“ 実践重視のものづくり ”

あらゆる産業の基礎となる機械技術。機械科ではものづくりに必要な設計技術や加工技術を学習します。

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、製図、情報技術基礎、機械設計

（2年次）実習、製図、機械設計、機械工作、原動機、電気基礎

（3年次）課題研究、実習、製図、機械設計、原動機 機械工作、原動機、自動車工学

は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

#### 【情報技術科】

“ つくる・つたえる・つながる ”

コンピュータは、私たちの生活に欠かせないものになっています。情報技術科では単に「使う」技術を学ぶのではなく、コンピュータやネットワークを「作る」技術を学習します。

平成2年に新設

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、情報技術基礎、電気基礎

（2年次）実習、電気基礎、アプリケーション技術実習（学校設定科目）

電子回路、通信技術、プログラミング技術

（3年次）課題研究、実習、製図、プログラミング技術、コンピュータシステム技術、

コンピュータ応用実習（学校設定科目）

は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

#### 【電気科】

“ 人々の生活を支える電気 ”

電気は現代社会を支える必要不可欠な技術です。電気科では、基本的な学習から電気エネルギーの供給や利用など、技術者としての幅広い学習をします。

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、情報技術基礎、電気基礎

（2年次）実習、電気基礎、アプリケーション技術実習（学校設定科目）

電子機器、電子技術、通信技術

（3年次）課題研究、実習、製図、電力技術、電子計測制御

は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

#### 【建築科】

“ 夢と満足の居住デザイン ”

建築物に必要なことは、快適に生活できること、地震や台風、火災、腐食に強いことです。建築科ではこれらを満たす建築物を計画、設計、施工（工事）、使用までの過程を学習します。

履修科目（工業専門科目）

（1年次）工業技術基礎、製図、情報技術基礎、建築構造

（2年次）実習、製図、建築施工、建築構造、建築構造設計、建築法規

（3年次）課題研究、実習、製図、建築計画、建築構造設計、建築施工、建築法規



は選択科目・・・各学科の選択科目、共通選択科目の中から選択可能

< 全学科共通選択科目 >

( 2 年次 ) 子どもの発達と保育 ( 家庭科専門科目 ) 情報メディアデザイン ( 美術専門科目 )

学校設定科目：漢字の世界 ( 国語 ) 身近な化学物質とその性質 ( 理科 )

( 3 年次 ) 生活と福祉 ( 家庭科専門科目 ) フードデザイン ( 家庭科専門科目 )

絵画 ( 美術専門科目 ) 学校設定科目：現代史 ( 地歴科 )

**嬉野高校**

**【総合学科】**

必履修科目一覧

( 1 年次 ) 国語総合、世界史 A、数学、数学 A、科学と人間生活、体育、保健、美術 / 書道、

英語表現、コミュニケーション英語、家庭基礎、社会と情報、産業社会と人間

( 2 年次 ) 国語総合、現代社会、生物基礎、体育、保健

( 3 年次 ) 日本史 A / 地理 A / 政治・経済、体育

選択科目一覧

系列名	科目群の特色	総合選択科目				自由選択科目	
		基礎科目		基礎以外の科目		教科	科目
		教科	科目	教科	科目		
情報ビジネス	商業の科目や情報に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、高度情報化社会に貢献できる人材を育成する。	国語	国語表現	商業	電子商取引 マーケティング 商品開発 財務会計 I 原価計算 ビジネス計算※	国語	古典基礎※
		数学	総合数学※			公民	政治・経済
		外国語	コミュニケーション英語 II				
		商業	簿記 情報処理 ビジネス情報				
観光・流通	販売・サービスの基礎的・基本的な知識と技能を習得し、サービス産業に貢献できる能力と態度を養う。観光についての知識理解を深める。	国語	国語表現	商業	簿記 商品開発 広告と販売促進 情報処理 ビジネス情報	外国語	中国語入門※
		数学	総合数学※			商業	ビジネス基礎 コンピュータグラフィックス※
		外国語	コミュニケーション英語 II				
		商業	観光一般※ 観光ビジネス実践※ 観光地理※				
人文科学	普通教科・科目を中心に学習し、現代社会に適応できる基本的な知識を習得する。四年制大学や短期大学、高等看護学校に進学を希望する生徒が対象となる。	国語	古典 B 現代文 B	地理歴史	日本史 B 地理 B	福祉	社会福祉基礎 福祉一般※
		数学	数学 II 数学 B 総合数学※	理科	生物		
		外国語	コミュニケーション英語 II 英語表現 II				
文化教養	食物・被服・保育・語学など幅広い知識と技能を習得する。社会人としての必要な資質・教養を養成し、豊かな人間性を育てる。	国語	国語表現	国語	実践国語※		
		数学	総合数学※	芸術	美術 II 書道 II		
		外国語	コミュニケーション英語 II	外国語	中国語 I ※ 中国語 II ※		
		家庭	子どもの発達と保育 ファッション造形基礎 フードデザイン	英語	英語理解 時事英語		
社会福祉	福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術の理解を深め、将来、地域社会において福祉活動の推進に寄与する能力と態度を養う。	国語	国語表現	福祉	介護過程 介護総合演習 介護実習 こころとからだの理解		
		数学	総合数学※				
		福祉	社会福祉基礎 介護福祉基礎 コミュニケーション技術 生活支援技術	英語	英語理解		

注1 ※は学校設定科目である。

注2 教科「家庭」は主として専門学科において開設される教科である。

注3 教科「英語」は主として専門学科において開設される教科である。



詳細 塩田工業高校と嬉野高校の教育課程表

塩田工業高校 機械科

全日制課程 工業科（機械）

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成27年度入学生						
			1年	2年		3年		計	
				専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2		4	4
		国語表現	3				(2)		0・2
		現代文A	2				3	3	3
		※漢字の世界	2~4			(2)			0・2
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2
		地理A	2	2					2
		※現代史	2~4				(2)		0・2
	公民	現代社会	2				3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2
	数学	数学Ⅰ	3	4					4
		数学Ⅱ	4		2	2	2	2	4
		数学A	2		(2)	2			0・2
		数学B	2				(2)	3	0・2
	理科	科学と人間生活	2	2					2
		物理基礎	2		3	3			3
		物理	4					3	3
		化学基礎	2			2			2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7
		保健	2	1	1	1			2
芸術	美術Ⅰ	2	2					2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2			4	
	英語表現Ⅰ	2			2	2	2	4	
	英語会話	2				2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	
情報	情報の科学	2		情報技術基礎（2単位）で代替					
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・15 17・19	21	46・48・50 52・54・56・58	60
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3
		課題研究	2~6				3	3	3
		実習	2~18		4	4	3	3	7
		製図	2~10	3	2	2	2		7
		情報技術基礎	2~6	2					2
		機械工作	2~8		(2)		(2)		0・2・4
		機械設計	2~8	2	3	3	2	2	7
		原動機	2~6		(2)		(2)		0・2・4
	家庭	自動車工学	2~10				(2)		0・2
		電気基礎	2~8		(2)				0・2
		子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2
	美術	生活と福祉	2~6				(2)		0・2
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2
	校外学習活動	絵画	2~6				(2)		0・2
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2
就業体験	就業体験	1~6							
	知識及び技能審査	1~20							
ボランティア活動	ボランティア活動	1~20							
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	10・12 14・16	8	29・31・33 35・37・39・41	27
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替						
履修単位の計			29	29	29	29	29	87	
特別活動	ホームルーム活動（週あたりの時間数）		1	1	1	1	1		
	生徒会活動		別途計画						
	学校行事		別途計画						
備考			○は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目						

教科・科目			入学年度	平成27年度入学生						
			学年	1年	2年		3年		計	
			標準単位		専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4		(2)				0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4					4	4
		数学II	4		2	2	4	2	6	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
	芸術	美術I	2	2					2	2
	外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	4
		英語表現I	2			2	2	2	2	4
		英語会話	2					2		2
	家庭	家庭基礎	2	2					2	2
	情報	情報の科学	2							
					情報技術基礎 (2単位) で代替					
	各学科に共通する教科・科目小計				19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6	6
		製図	2~10				2	2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3	3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7	7
		電子回路	2~8		(2)				0・2	
		通信技術	2~8		(2)				0・2	
		プログラミング技術	2~8		(2)		(2)		0・2・4	
		コンピュータシステム技術	2~8				(2)		0・2	
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	3	
	※コンピュータ応用実習	2~8				(2)		0・2		
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~6				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
	校外学習活動	就業体験	1~6							
知識及び技能審査 ボランティア活動		1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計				10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27
総合的な学習の時間				課題研究 (3単位) で代替						
履修単位の計				29	29	29	29	87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)			1	1	1	1	1		
	生徒会活動			別途計画						
	学校行事									
備考				()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目						

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成27年度入学生						
			1年	2年		3年		計	
				専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2		4	4
		国語表現	3				(2)		0・2
		現代文A	2				3	3	3
		※漢字の世界	2~4		(2)				0・2
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2
		地理A	2	2					2
		※現代史	2~4				(2)		0・2
	公民	現代社会	2				3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2
	数学	数学Ⅰ	3	4					4
		数学Ⅱ	4		2	2	4	2	6
		数学A	2		(2)	2			0・2
		数学B	2				(2)	3	0・2
	理科	科学と人間生活	2	2					2
		物理基礎	2		3	3			3
		物理	4					3	3
		化学基礎	2			2			2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7
		保健	2	1	1	1			2
芸術	美術Ⅰ	2	2					2	
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2			4	
外国語	英語表現Ⅰ	2			2	2	2	2	
	英語会話	2				2		2	
	家庭基礎	2	2					2	
情報	情報の科学	2						2	
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60	60
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3
		課題研究	2~6				3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6
		製図	2~10				2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7
		電気機器	2~8		(2)				0・2
		電力技術	2~8				(2)・(4)		0・2・4
		電子技術	2~8		(2)				0・2
		電子計測制御	2~8				(2)		0・2
	通信技術	2~8		(2)				0・2	
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2
		生活と福祉	2~6				(2)		0・2
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2
美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
	情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6							
	知識及び技能審査 ボランティア活動	1~20							
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替						
履修単位の計			29	29		29		87	
特別活動	ホームルーム活動（週あたりの時間数）		1	1	1	1	1		
	生徒会活動		別途計画						
	学校行事								
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目						

教科・科目		入学年度	平成27年度入学生							
		学年	1年	2年		3年		計		
		標準単位		専門	進学	専門	進学	専門	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4		(2)				0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4					4	4
		数学II	4		2	2	2	2	4	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
芸術	美術I	2	2					2	2	
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	4	
	英語表現I	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎(2単位)で代替							
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・15 17	21	48・50・52 54・56・58	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		4	4	3	3	7	7
		製図	2~10	2	3	3	4		9	5
		情報技術基礎	2~6	2					2	2
		建築構造	2~8	3	(2)				3・5	3
		建築計画	2~10				2	2	2	2
		建築構造設計	2~9		(2)		(2)		0・2・4	
	建築施工	2~7		2	2	(2)		2・4	2	
	建築法規	2~5		(2)		(2)		0・2・4		
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~6				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査 ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	12・14 16	8	29・31・33 35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究(3単位)で代替							
履修単位の計			29	29		29		87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

(課程) 全日課程 (学科) 総合学科

				(第1、2、3年次生)			合計
	教科	科目	標準単位数	1年次履修単位数	2年次履修単位数	3年次履修単位数	
必修科目	国語	国語総合	4	3	2		5
	地理歴史	世界史A	2	2			2
		日本史A	2			△2	0・2
		地理A	2			△2	0・2
	公民	現代社会	2		2		2
		政治・経済	2			△2	0・2
	数学	数学I	3	3			3
		数学A	2	2			2
	理科	科学と人間生活	2	2			2
		生物基礎	2		2		2
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	7
		保健	2	1	1		2
	芸術	美術I	2	△2			0・2
		書道I	2	△2			0・2
外国語	コミュニケーション英語I	3	3			3	
	英語表現I	2	2			2	
家庭	家庭基礎	2	2			2	
情報	社会と情報	2	2			2	
合計				26	9	5	40
原則履修	総合	産業社会と人間	2~4	2			2
必修科目合計				28	9	5	42
選択科目合計				2・4	20・26	23・28	45・58
総計				30・32	29・35	28・33	87・100
校外学習活動	知識及び技能審査	1~20					
総合的な学習の時間			3~6	0	1	2	3
履修単位数総計				30・32	30・36	30・35	90・103
特別活動	ホームルーム活動週あたり時数			1	1	1	3

△ 地歴の2科目選択については、第1年次「世界史A」の必修と教育課程表1の第3年次の「日本史A」・「地理A」・「政治・経済」の選択履修とする。

ただし、「政治・経済」を選択できるのは、「日本史B」か「地理B」の選択者にかぎる。

△ 「美術I」・「書道I」から1科目選択。

※ 第1年次の数学は、集中履修となり、数学I、数学Aの順に履修をする。

※ 第2年次の数学は、人文科学系列は総合選択科目の数学IIと校内必修科目の数学Bの集中履修となり、数学II、数学Bの順に履修をする。

※ 第2年次の理科は、人文科学系列は必修科目の生物基礎と総合選択科目の生物の集中履修となり、生物基礎、生物の順に履修をする。

系 列	総合選択科目											自由選択科目									
	基礎科目					基礎以外の科目						教科 科目	選択学年				備考				
	教科 科目	単位数	選択学年			備考	教科 科目	単位数	選択学年				備考	教科 科目	単位数	選択学年			備考		
1年			2年	3年	合計				1年	2年	3年	合計				1年	2年	3年		合計	
情報 ビジネス 系列	商業	簿記	2~5	6	4	6	10	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学設	商業	ビジネス基礎	2~4	2		2	
		情報処理	2~4	4	3	7	商業	商品開発	2~4		2	2			国語	古典基礎	2	2		2	学設
		ビジネス情報	2~4	4	4	8		電子商取引	2~4		2	2			福祉	社会福祉基礎	2~6	2		2	
	国語	国語表現	3	2	2	4		財務会計Ⅰ	2~4		4	4			公民	政治・経済	2		2	2	
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4		原価計算	2~4		4	4			福祉	福祉一般	2~4		2	2	学設
								ビジネス計算	2~4		2	2	学設	商業	コンピュータグラフィクス	2~4		2	2	2	学設
							マーケティング	2~4		2	2			(文化教養系列のみ)							
観光・ 流通 系列	商業	観光一般	2~4	5		5	学設	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学設	芸術	美術Ⅱ	2		2	2	
		観光ビジネス実践	2~6		4	4	学設	商業	商品開発	2~4		2	2			書道Ⅱ	2		2	2	
		観光地理	2~6	5		5	学設		広告と販売促進	2~4		2	2		英語	英語理解	2~6		2	2	
	国語	国語表現	3	2	2	4			情報処理	2~4	4	3	7			時事英語	2~4	2	2	2	2
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4			ビジネス情報	2~4		4	4		外国語	中国語入門	2~4	2	2	2	2
人文 科学 系列	国語	古典B	4	2	4	6		地理歴史	世界史B	4	4	3	7								
		現代文B	4	2	2	4			日本史B	4	4	3	7								
	数学	数学Ⅱ	4	3		3		理科	地理B	4	4	3	7								
		数学B	2	2		2	学設		生物	4	1	3	4								
		総合数学	2~6		5	5															
	外国語	英語表現Ⅱ	4	2	4	6															
	コミュニケーション英語Ⅱ	4	4	2	6																
文化 教養 系列	家庭	子どもの発達と保育	2~6		3	3		数学	総合数学	2~6	2	2	4	学設							
		ファッション造形基礎	2~6	6	4	10															
		フードデザイン	2~6	4	6	10															
	国語	国語表現	3	2	2	4															
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4																
社会 福祉 系列	福祉	社会福祉基礎	2~6	2	2	4		福祉	介護過程	2~6	2	2	4								
		介護福祉基礎	2~6	2	3	5			介護総合演習	2~6	1	2	3								
		コミュニケーション技術	2~4	2		2			介護実習	2~16	2	6	5	13							
		生活支援技術	2~12	4	6	10			こころからの理解	2~12	3	6	9								
	国語	国語表現	3	2	2	4		数学	総合数学	2~6	2		2	学設							
	英語	英語理解	2~6	2		2															

※ 「介護実習」

・第1年次2単位 第2年次6単位 第3年次5単位 合計13単位の校外実習がある。

※ 社会福祉系列に進む生徒は、第1年次の総合選択科目の社会福祉基礎を選択しなければならない。

※ 第1年次に中国語入門を履修していない生徒が、第2年次に中国語入門を選択できる。

5 総合学科における学級数と系列数の相関関係

		系列数									計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
学級数	1		5	1	1						7
	2		1	17	11	4					33
	3			10	29	11	2				52
	4			2	15	28	11	3	1		60
	5	1		1	3	25	11	4	1		46
	6			2	8	16	25	12	3	1	67
	7				1	9	7	3	3		23
	8			1		1	1	2	1	1	7
計		1	6	34	68	94	57	24	9	2	295

対象は総合学科を持つ全国の公立高等学校で平成27年度入学生に対する状況である。

(富山県教委資料により作成)

6 鹿島・藤津地区の学科の状況

(1) 配置

鹿島・藤津地区の学科及び募集定員(640人 16学級規模)

普通科 280人(7学級規模)

(鹿島高校 200人、太良高校 80人)

専門学科 240人(6学級規模)

(工業科:塩田工業高校 120人、商業科:鹿島実業高校 80人、家庭科:鹿島実業高校 40人)

総合学科 120人(3学級規模)

(総合学科:嬉野高校 120人)

【工業科、総合学科の全県配置】



県内の工業系高校の小学科、総合学科高校の系列 (数値はH28募集定員)

<工業系高校>

- 鳥栖工業高校 240 ...【機械科 80】【電子機械科 40】【電気科 40】【建築科 40】【土木科 40】
- 佐賀工業高校 280 ...【機械科 80】【電気科 80】【電子情報科 80】【建築科 40】
- 唐津工業高校 160 ...【機械科 40】【電気科 40】【建築科 40】【土木科 40】
- 有田工業高校 200 ...【機械科 80】【電気科 40】【セラミック科 40】【デザイン科 40】
- 塩田工業高校 120 ...【機械科 40】【情報技術科、電気科 40】【建築科 40】

<総合学科高校>

- 神埼清明高校 160 ...みどり系列、食品科学系列、情報ビジネス系列、生活・福祉系列、健康・スポーツ系列、人文教養系列
- 多久高校 160 ...人文科学系列、自然科学系列、健康福祉系列、商業ビジネス系列、マルチメディア系列、工業技術系列
- 唐津青翔高校 80 ...文理系列、社会福祉系列、情報ビジネス系列、環境文化系列、芸術系列
- 嬉野高校 120 ...情報ビジネス系列、観光・流通系列、人文科学系列、文化教養系列、社会福祉系列

(2) 鹿島・藤津地区の高校別志願状況

地区名	高校名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生		
		9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般
鹿島 藤津 地区	鹿島	1.24	1.22	1.12	1.14	1.06	1.01	0.99	1.04	1.04	1.07	1.11	1.10	1.06	1.00	0.98	1.00	0.95	0.93	1.21	1.11	
	太良	0.36	0.34	0.47	0.51	0.58	0.98	0.75	0.85	1.20	0.74	0.74	1.14	0.76	0.75	0.89	0.66	0.84	1.15	0.73	0.88	
	塩田工業	0.87	1.02	1.20	0.71	0.71	0.90	0.71	0.81	1.00	0.74	0.74	0.99	1.00	1.03	1.16	1.00	1.02	1.04	0.86	0.97	
	鹿島実業	1.75	1.60	1.42	1.44	1.49	1.17	1.38	1.33	0.94	1.35	1.30	0.92	1.29	1.22	1.11	1.13	1.03	0.81	1.13	1.09	
	嬉野	0.73	0.84	1.05	1.00	1.09	1.20	1.20	1.13	1.25	1.01	1.08	1.23	0.97	0.86	0.90	0.76	0.78	0.90	0.83	0.88	

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。  
※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

<塩田工業高校と嬉野高校の学科別志願状況>

学校名・学科名	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生			
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	
塩田工業 高校	全体						0.71	0.81	1.00	0.74	0.74	0.99	1.00	1.03	1.16	1.00	1.02	1.04	0.86	0.97		
	機械科						1.25	0.83	1.16	1.40	1.25	1.13	1.55	1.58	1.21	1.20	1.13	1.17	1.23	1.15		
	情報技術科	0.87	1.02	1.20	0.71	0.71	0.90	0.60	0.75	0.90	0.45	0.58	0.94	0.90	0.83	1.19	0.83	0.80	0.94	0.45	0.65	
	電気科							0.68	0.98	0.88	0.45	0.53	0.97									
	建築科							0.33	0.68	1.07	0.65	0.63	0.94	0.55	0.70	1.09	0.98	1.13	1.03	0.90	1.10	
嬉野高校 総合学科	0.73	0.84	1.05	1.00	1.09	1.20	1.20	1.13	1.25	1.01	1.08	1.23	0.97	0.86	0.90	0.76	0.78	0.90	0.83	0.88		
県全体	1.21	1.19	1.16	1.20	1.17	1.17	1.19	1.16	1.17	1.21	1.18	1.20	1.20	1.15	1.15	1.18	1.14	1.15	1.18	1.14		

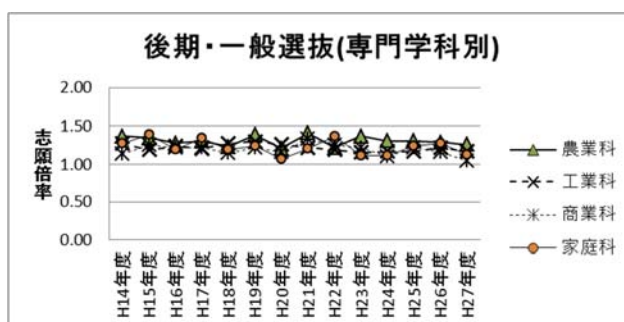
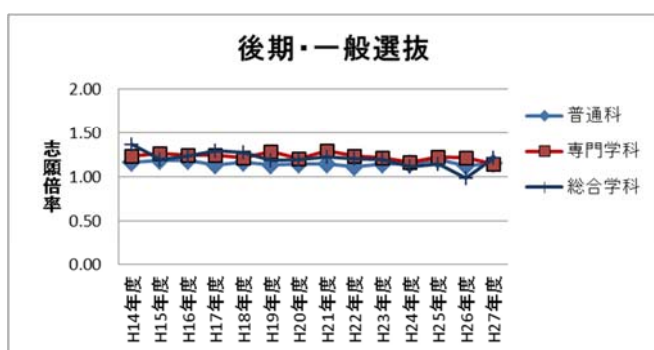
※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。  
※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。



【参考1 県全体の学科別志願状況】

後期・一般	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
普通科	1.11	1.14	1.14	1.19	1.12	1.15
専門学科	1.23	1.21	1.16	1.22	1.21	1.14
農業科	1.22	1.37	1.31	1.31	1.29	1.26
工業科	1.19	1.16	1.17	1.17	1.22	1.17
商業科	1.25	1.22	1.10	1.22	1.16	1.05
家庭科	1.37	1.11	1.11	1.24	1.27	1.13
総合学科	1.20	1.19	1.11	1.14	0.98	1.21
県立全体	1.16	1.17	1.15	1.20	1.15	1.15

理数科及び芸術科は普通科に含む。



【参考2 工業科の小学科別志願状況】

大学科・小学科	H22入学生			H23入学生			H24入学生			H25入学生			H26入学生			H27入学生			H28入学生		
	9月	11月	後期	9月	11月	後期	9月	11月	一般	9月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般	10月	11月	一般
工業	1.23	1.22	1.19	1.11	1.10	1.16	1.19	1.20	1.17	1.18	1.14	1.17	1.25	1.21	1.22	1.17	1.17	1.17	1.22	1.20	
機械系	1.65	1.45	1.12	1.46	1.25	1.12	1.41	1.35	1.13	1.59	1.48	1.32	1.52	1.40	1.25	1.35	1.33	1.27	1.54	1.40	
電気系	1.05	0.97	1.29	1.00	1.03	1.41	1.10	1.04	1.04	0.94	0.98	1.12	1.03	0.98	1.06	0.91	0.89	1.02	0.85	0.98	
電子・情報系	0.88	1.07	1.46	0.73	0.72	1.26	0.85	1.06	1.26	0.81	0.86	1.17	1.33	1.27	1.45	1.13	1.24	1.26	1.13	1.12	
建築系	0.64	0.66	1.04	0.81	0.91	1.35	1.11	1.18	1.17	1.27	1.09	1.08	1.31	1.22	1.24	1.28	1.20	1.12	1.44	1.39	
土木系	0.96	1.03	0.94	0.85	1.08	1.03	1.20	1.33	1.42	1.08	1.11	1.21	0.88	1.11	1.26	1.08	1.13	1.14	1.03	1.05	
その他	1.02	1.13	1.24	0.80	0.83	0.95	1.45	1.33	1.37	0.86	0.98	0.86	0.99	1.09	1.14	1.14	1.19	1.40	0.99	1.01	

※数値は倍率。網掛けは1.00倍未満。

※後期(または一般)倍率は、志願変更後の倍率。

(3) 鹿島・藤津地区の中学生の進路状況

鹿島・藤津地区の中学生の進路状況を分析すると、約8割が県内公立高校に進学しており、普通科と専門学科がほぼ4割ずつである。地域としては約7割の生徒が、地元である旧西部学区へ進学している。

鹿島・藤津地区 中卒者進路	全日制			定時制 ・ 通信制	高専 ・ 特別 支援	就職等 左記 以外	卒業 者数
	県内 公立	県内 私立	県外 公私立				
平成23年 3月卒	615	56	15	4	13	15	718
	85.7	7.8	2.1	0.6	1.8	2.1	
平成24年 3月卒	620	73	17	6	11	12	739
	83.9	9.9	2.3	0.8	1.5	1.6	
平成25年 3月卒	638	76	10	10	7	23	764
	83.5	9.9	1.3	1.3	0.9	3.0	
平成26年 3月卒	604	60	22	3	9	17	715
	84.5	8.4	3.1	0.4	1.3	2.4	
平成27年 3月卒	586	51	19	3	7	17	683
	85.8	7.5	2.8	0.4	1.0	2.5	
5年集計	3,063	316	83	26	47	84	3,619
	84.6	8.7	2.3	0.7	1.3	2.3	

塩田工業高校及び嬉野高校への通学状況

ほとんどが、地元からの入学者である。

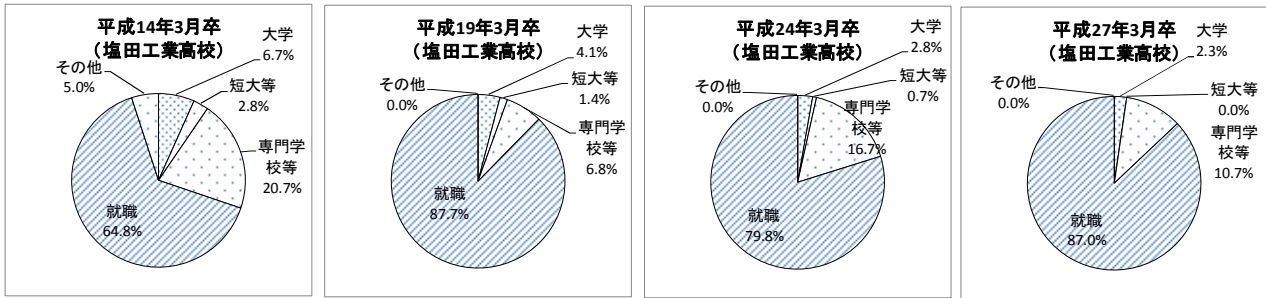
	旧東部	旧中部	旧北部	旧西部	単位：%	
					うち嬉野市	県外等
塩田工業高校	0.0	1.4	0.1	98.2	29.8	0.3
嬉野高校	0.0	0.2	0.0	99.3	54.0	0.7

注) 平成23年～平成27年度の高校1年在籍者の出身中学校を基に、旧学区ごとの割合を示す。(各年度5月1日現在)

#### (4) 塩田工業高校と嬉野高校の高校卒業後の進路状況

##### 工業科

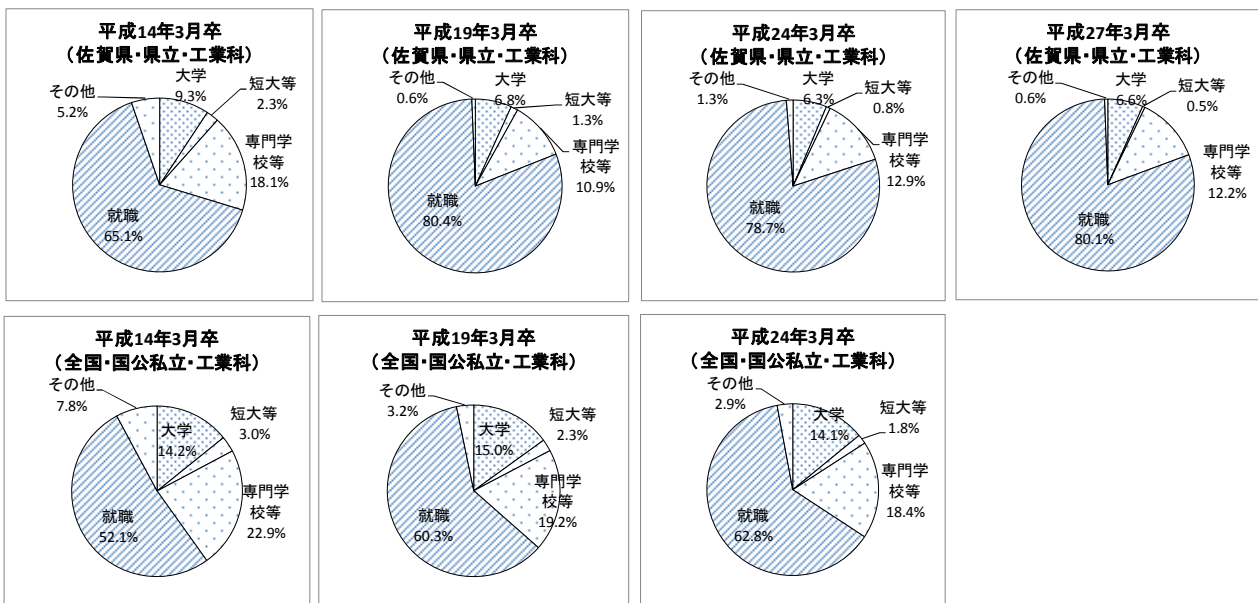
##### 【塩田工業高校卒業後の進路状況】



##### 【参考 本県及び全国の工業科卒業後の進路状況】

上段：佐賀県・県立・工業科

下段：全国・国公立・工業科



##### <主な進学先>

(私立) 福岡大学、九州産業大学、西九州大学

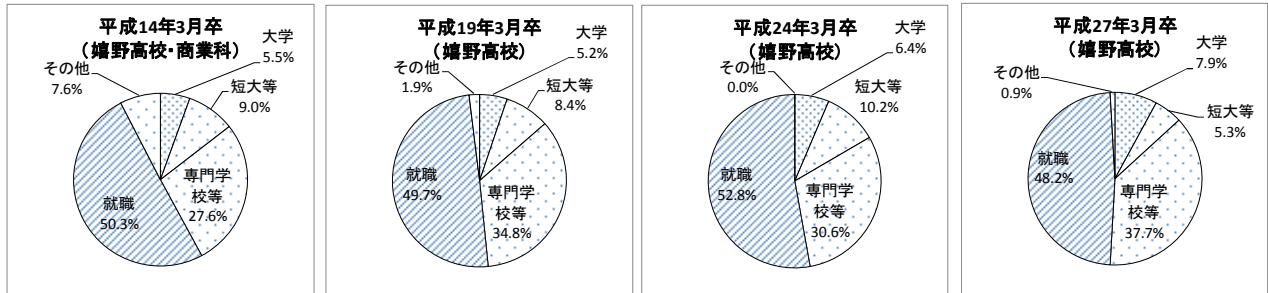
(専修学校等) 佐賀コンピュータ専門学校、九州国際情報ビジネス専門学校、緑生館、鹿島看護学校

##### <主な就職先>

日産自動車、JFE スチール、トヨタ自動車、豊田鉄工、アイシン化工、ジェイテクト、西島製作所、ダイハツ工業、マツダ、新日鐵住金八幡製鐵所、九州製鋼、九電工、佐川急便九州支社、フランソア、東亜工機、友朋会、森鉄工、祐徳薬品工業、九州住電精密、ジェイエイビバレッジ佐賀、鹿島機械工業、中山鉄工所、佐賀シール工業、不二コンクリート工業、デリカフレンズ佐賀工場、佐賀県農業協同組合、名村造船所、塩田環境開発、友樹飲料、織田病院、戸上デンソー、五光建設、祐徳自動車、宮園電工、エスティ工業、キタック、ソクト、警視庁、陸上自衛隊、航空自衛隊

総合学科

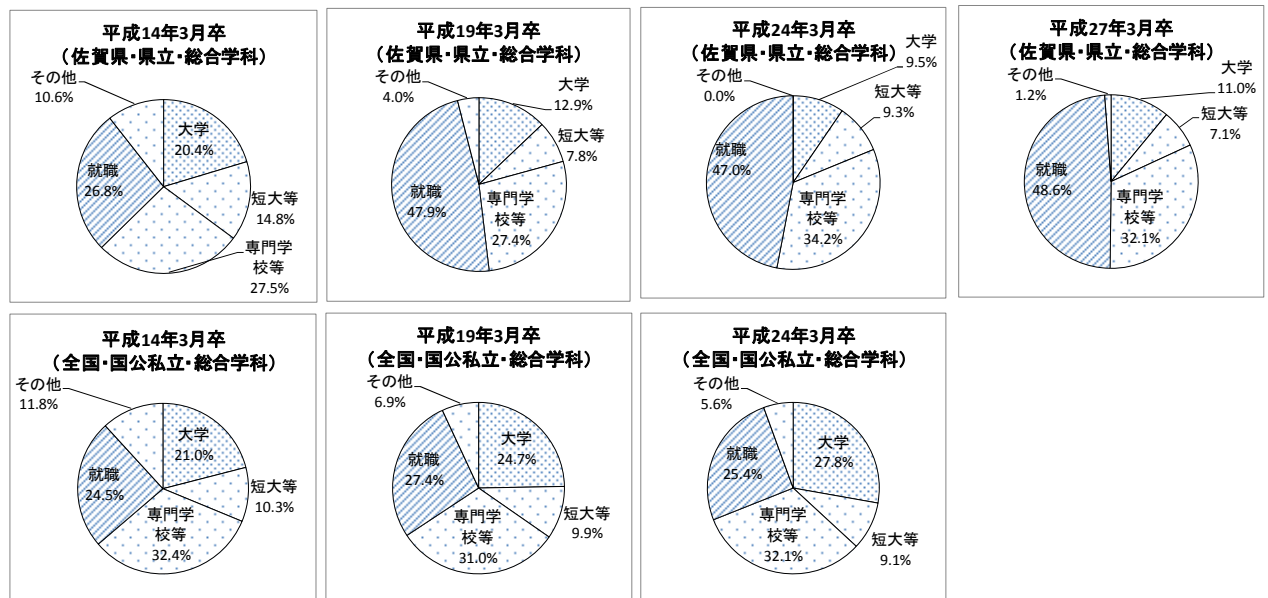
【嬉野高校卒業後の進路状況】



【参考 本県及び全国の総合学科卒業後の状況】

上段：佐賀県・県立・総合学科

下段：全国・国公立・総合学科



< 主な進学先 >

(国公立) 佐賀大学、熊本大学、長崎県立大学

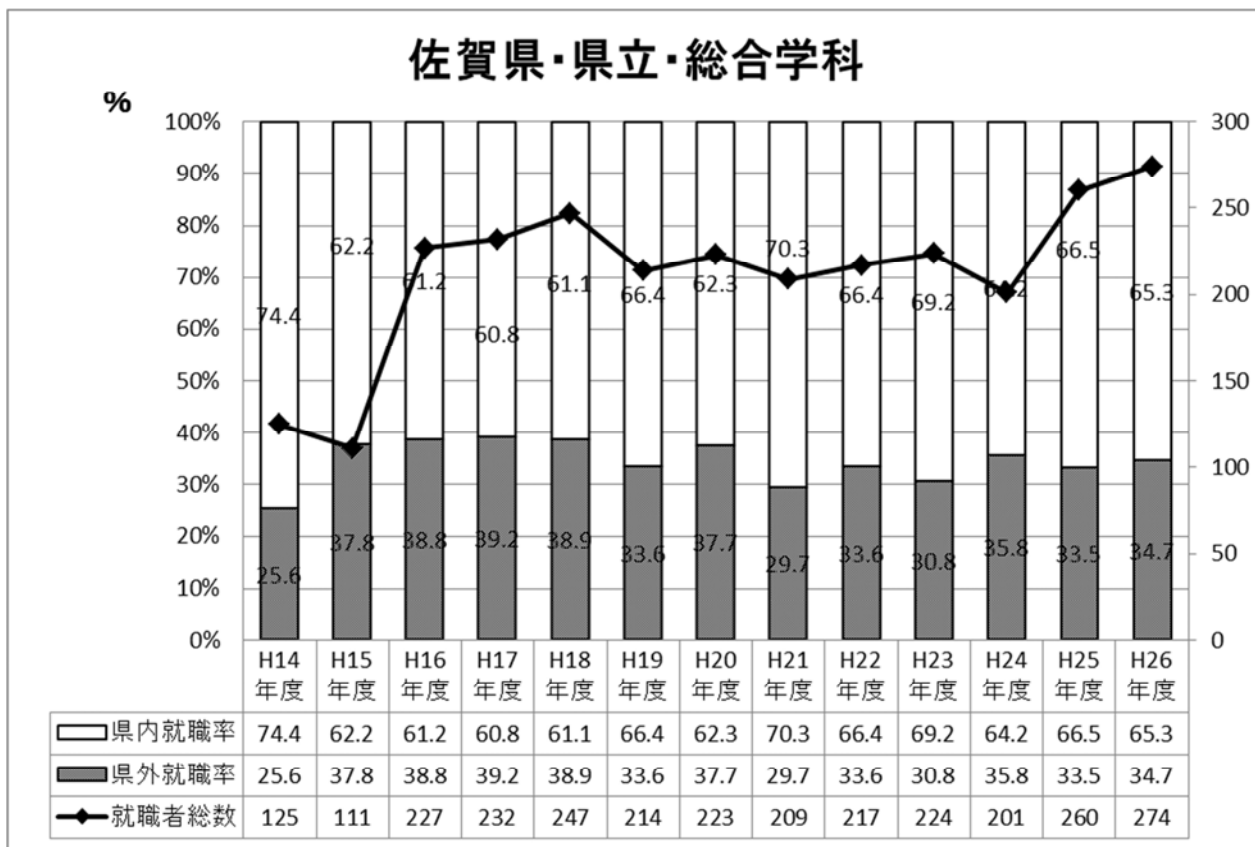
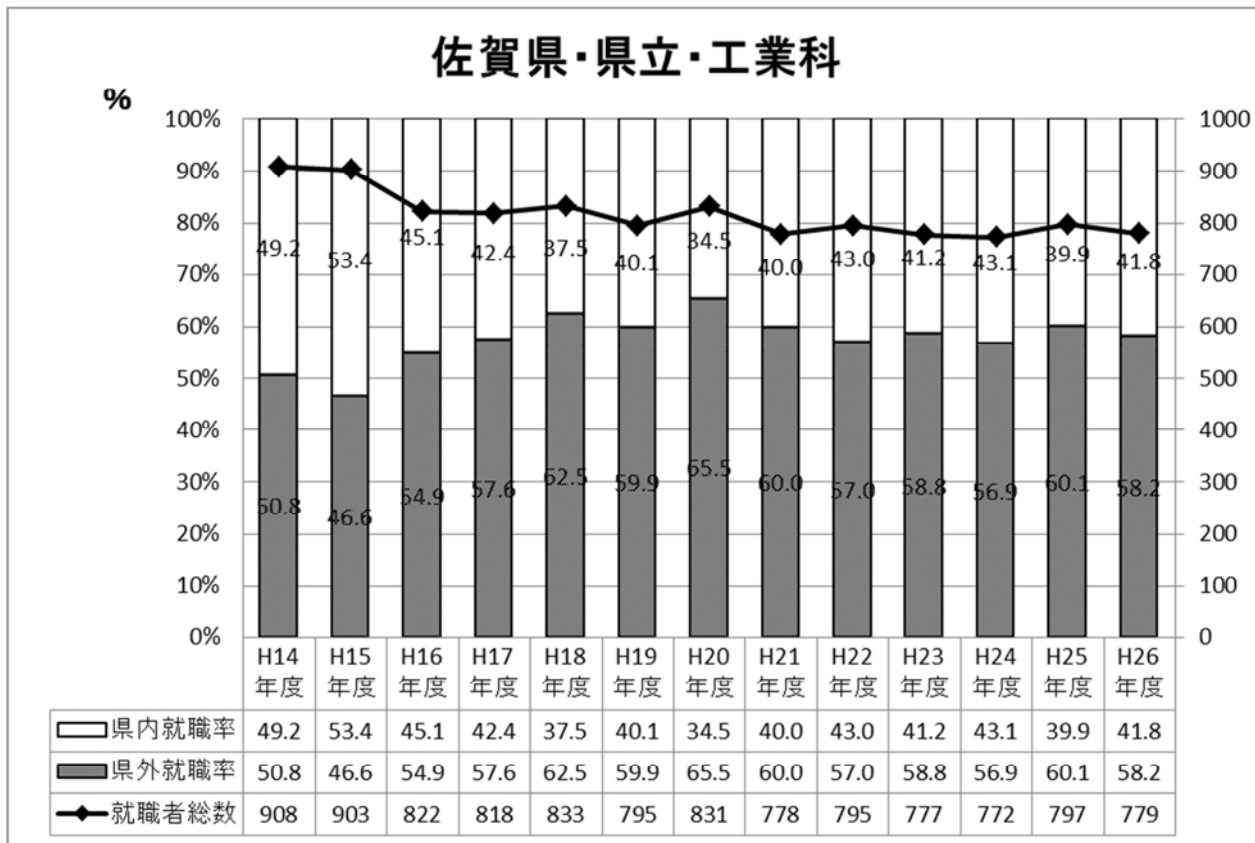
(私立) 西九州大学、福岡大学、九州共立大学

(短期大学) 西九州短大、佐賀女子短大

(専修学校等) 九州国際ビジネス専門学校、トヨタ名古屋自動車大学校、福岡美容専門学校、麻生リハビリテーション大学校、久留米リハビリテーション学院、長崎リハビリテーション学院、武雄看護リハビリテーション学校、緑生館

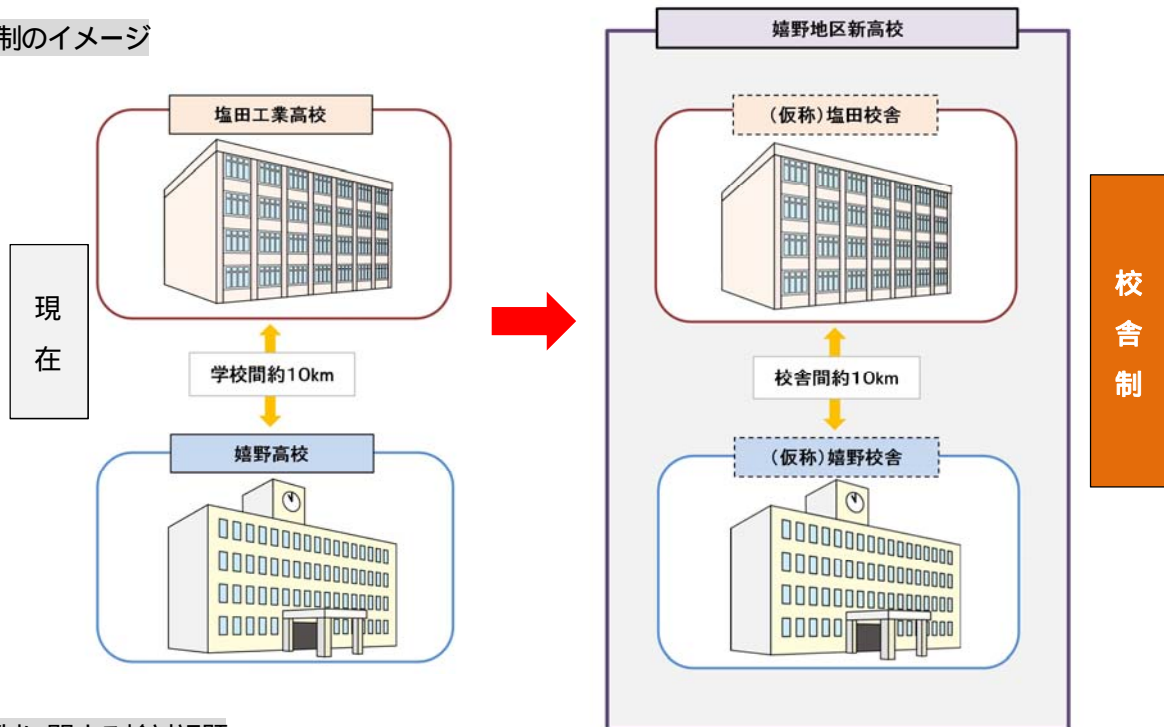
< 主な就職先 >

佐賀西信用組合、祐徳薬品工業、祐徳稲荷神社、和多屋別荘、ホテル華翠苑、肥前通運、祐徳自動車、タケックス、佐賀セロリ、佐賀シール工業、村岡屋、友朋会嬉野温泉病院、白石共立病院、社会福祉法人済昭園、すみれ園、Aコープ佐賀、山崎製パン、東京急行電鉄、東京エアポートレストラン、エスラインギフ、札幌かに本家、美々卵、セラミックセンサ、マツダ、イズミ、昭和金属工業、JR九州、にしけい、長崎キャノン、陸上自衛隊、航空自衛隊



## 資料4 校舎制について

### 校舎制のイメージ



### 校舎制に関する検討課題

#### (1) 行事について

合同実施が望ましい行事

【例】式典、学校祭、修学旅行、高校総体壮行会、芸術鑑賞会、全校集会、学年集会等  
行事の際の移動

【例】式典の場合は大型バスをチャーター(往復)し、一方の学校で実施(入学式・卒業式は生徒+保護者)  
終日あるいは半日実施の行事については、各自で会場へ集合

#### (2) 部活動について

部活動種目の見直し 新高校校内委員会で検討

活動場所の割り振り 移動生徒数をシミュレーション

部活動の際の移動

【例】

- ・ 放課後にバスを3往復(部活動開始・終了時とその中間)させる。
- ・ 活動場所が常路にあるものは、自転車や公共の交通機関等で各自移動させる。
- ・ 平日の合同練習を週3日とし、その日はバスを運行する(高校総体、新人戦前などはこの限りでない)。

#### (3) 職員配置・会議の在り方について

管理職の配置

【例】

- ・ 学校長は曜日ごとに、それぞれの校舎で勤務する。
- ・ 学校長は一方の校舎に常駐し、もう一方の校舎に副校長を配する。

校務分掌主任の配置

【例】

- ・ 分掌主任は一方の校舎にまとめる。
- ・ 分掌主任と副主任をバランスよく両校舎に分散させる。
- ・ 両校舎それぞれに分掌主任を配する。

会議の在り方

【例】

- ・ 職員会議等は、どちらか一方の校舎において合同で実施する。
- ・ 職員会議等は、それぞれの校舎で実施する。(その場合、管理職はどちらの会議にも出席する)。
- ・ 年度当初、学校祭、高校入試等に関する会議は合同、それ以外は校舎単独で実施する。
- ・ 運営委員会も職員会議に準じる。

#### (4) その他

・ 校務分掌の見直し ・ 校時の検討 ・ 校舎間の連絡



熊本県立阿蘇中央高等学校

(1) 沿革

H22.4 阿蘇高等学校(普通科、商業科)と阿蘇清峰高等学校(生物科学科、林業・農業土木科、社会福祉科)が統合。

各校舎の位置 【校舎間の距離約 3.1 km】



(2) 学科と募集定員

【計 280 人 7 学級 / 学年】

校舎	学科	H27 募集定員 (人)
阿蘇校舎 (旧阿蘇高校)	普通科	120
	総合ビジネス科	40
阿蘇清峰校舎 (旧阿蘇清峰高校)	農業食品科	40
	グリーン環境科	40
	社会福祉科	40

(3) 校舎制の状況 (H27.6.15 に学校訪問)

- ・ 副校長が阿蘇清峰校舎に、教頭が阿蘇校舎に常駐し、校長は月・水・金は阿蘇清峰校舎、火・木は阿蘇校舎に常駐している。
- ・ 各学科が複数の類型を持ち、なおかつ総合選択制を実施しているため、選択科目等の関係でカリキュラムは複雑化する。
- ・ 生徒の移動を伴うのは、授業 (総合選択制) 合同行事、部活動等である。
- ・ 入学式、卒業式の際は、保護者用のバスも準備する。
- ・ 部活動のための移動は、生徒各自で行う。ほとんどの生徒が 30 分程度をかけて徒歩で移動している。移動ルートのおぼすべてに歩道が設置されている。特に交通指導等はしていない。
- ・ 合同で行っている行事は、各式典 (入学式・卒業式・始業式・終業式・対面式) 宿泊研修 (1 年次) 体育祭・文化祭、農業体験 (田植え・稲刈り・収穫感謝祭) 修学旅行、芸術鑑賞会、ロードレース大会、クラスマッチ (年 1 回)。
- ・ 式典関係はすべて阿蘇校舎で行う (阿蘇清峰校舎の生徒が移動)。

(1) 沿革

H23.4 岡山県立落合高等学校（普通科、看護科、専攻科）と岡山県立久世高等学校（生産生物科、食品科学科）が統合。

各校地の位置 【校地間の距離約 6.4 km】



(2) 学科と募集定員

【計 210 人 5 学級 / 学年】

校地（校舎）	学科	H27 募集定員（人）
落合校地（旧落合高校）	普通科	80
	看護科	40
久世校地（旧久世高校）	生物生産科	35
	食品科学科	35

(3) 校舎制の状況（H27.11.19 に学校訪問）

- ・ 校長は月水木が落合校地、火金が久世校地での勤務。
- ・ 両校地で同じ制服を採用している。
- ・ 合同の行事は、入学式（落合校地）、卒業式（落合校地）、芸術鑑賞会（3年に1度）、学年交流会（各学年で行う）、＜各行事とも大型バスで移動＞
- ・ 授業での生徒の移動はなし。
- ・ 部活動に伴う生徒の移動は、中型バス（スクールバス）で週に2日間（月金）のみ送迎。
- ・ 両校舎を兼務しているのは理科、芸術の教諭。
- ・ 部活動の大会等は合同チームで出場。活動が活性化している。
- ・ 生徒指導面等の摺合せが難しい。年度当初の合同職員会議で申し合わせ事項を確認している。



(1) 沿革(再掲)

H27.4 北佐久農業高等学校(栽培システム科、生物サイエンス科、食品サービス科)、臼田高等学校(普通科、グリーンライフ科、デザイン科)、岩村田高等学校工業科(機械科、電子機械科、電気科)が統合。

(2) 学科と募集定員(再掲)

【計 280 人 7 学級 / 学年】

キャンパス(校舎)	学科	学級数	H27 募集定員(人)	
浅間キャンパス(旧北佐久農業高校)	農業科	栽培システム科	120 人 (くくり募集)	
		生物サイエンス科		
		食品サービス科		
	工業科	機械システム科	1 学級	40 人
		電気情報科	1 学級	40 人
臼田キャンパス(旧臼田高校)	創造実践科(総合学科)	2 学級	80 人	

平成 28 年度募集から、農業科は食料マネジメント科、生物サービス科、食農クリエイト科になる。

各キャンパスの位置 【校地間の距離約 9.6 km】



(3) 校舎制の状況 (H27.12.2 に学校訪問)

- ・ 一つの高校としての一体感を熟成していくことには配慮している。そのために、そのキャンパス、その学科でしかできないことと共同でできることの線引きをどこで行っていけばいいのかを現在模索中である。例えばキャンパス間ウォーク（両キャンパスを折り返して歩く）やクラスマッチ（各学年でどちらかのキャンパスに集まって行う）という行事は合同でやるが、文化祭はキャンパス別に行うということである。文化祭の別開催は「地域に開かれた学校」ということを考えた場合、1つのキャンパスのみの開催はできないだろうという発想である。
- ・ 1つのキャンパスで一斉に開催する行事については現地集合である。
- ・ 入学式、卒業式は浅間キャンパスで行っている（卒業式は予定）。
- ・ 生徒の授業でのキャンパス間移動はない。
- ・ 両キャンパスの兼務者は理科助手、音楽、美術、書道、農業の5人である。校務分掌がある方を本所属のキャンパスとしている。
- ・ 授業であれば産振用のマイクロバスを利用できる。通学用のバスはない。
- ・ 部活動について、巡回バス用の予算はない。平日は週2回（火、金）にPTAが持つマイクロバスを運行している。
- ・ 生徒指導面等での摺合せが難しい。
- ・ 求人（就職）と指定校（進学）については、1校扱いのため、両キャンパスで共有している。

## 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日  
佐賀県教育委員会教育長決定  
一部改正 平成17年4月 1日  
一部改正 平成18年7月12日  
一部改正 平成21年4月 1日  
一部改正 平成27年4月 1日

## (設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

## (所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関する事
  - 二 新高校の施設・設備に関する事
  - 三 新高校への円滑な移行に関する事
  - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要する事

## (組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

## (会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

## (事務局)

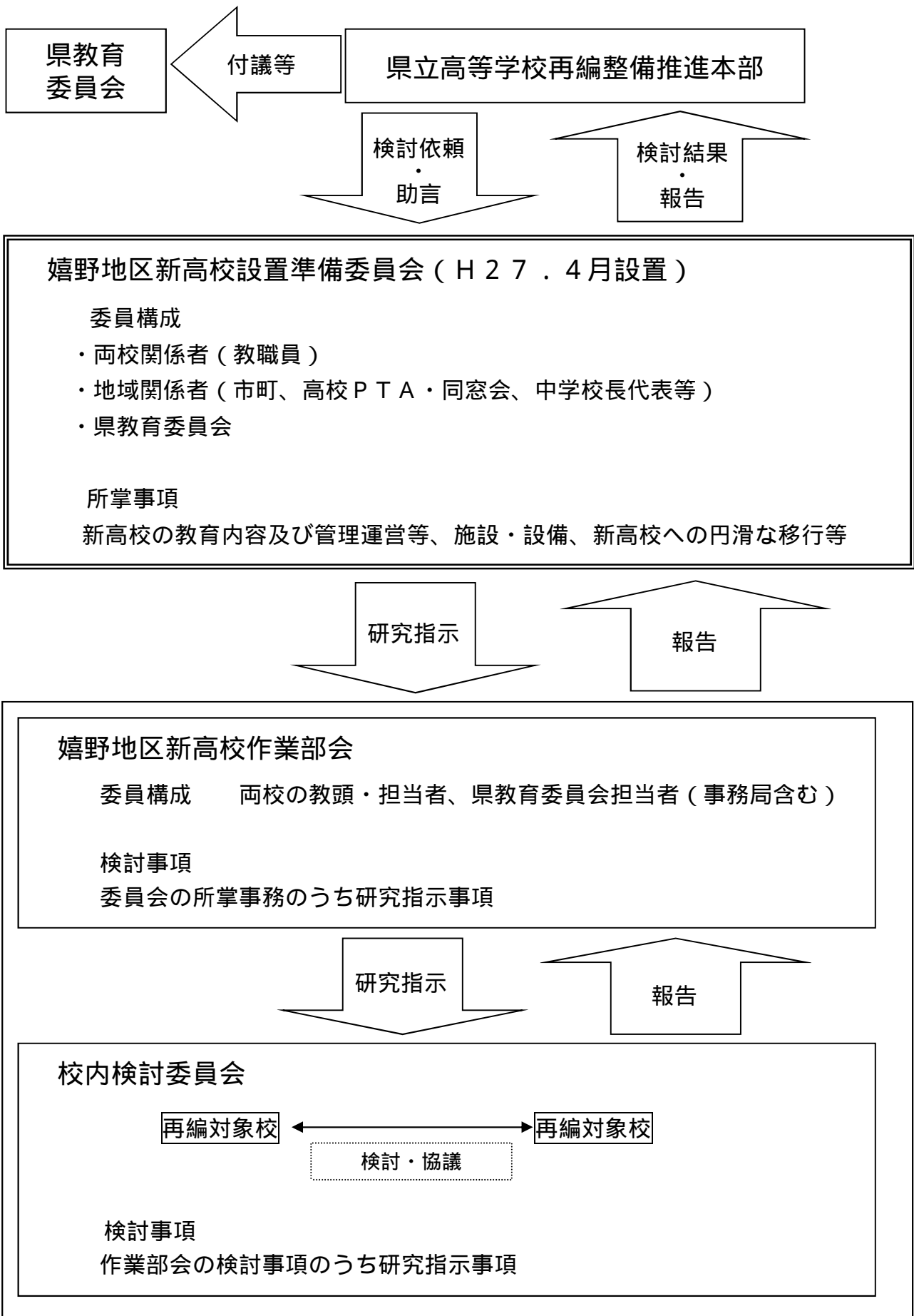
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

## (補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委 員 会 名	再 編 等 対 象 校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料7 嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考			
1	塩田工業高等学校 校長	藤井 伸幸	委員長・学校関係者			
2	嬉野高等学校 校長	峰松 藤一郎	副委員長・学校関係者			
3	塩田工業高等学校 教頭	津川 久博	学校関係者			
4	嬉野高等学校 教頭	池田 豊昭				
5	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	市関係者		
6	嬉野市副市長	中島 庸二				
7	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市			
8	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市			
9	塩田工業高等学校 同窓会代表	西村 利則	地元関係者			
10	嬉野高等学校 同窓会代表	山下 芳郎				
11	塩田工業高等学校 PTA代表	石橋 蔵人				
12	嬉野高等学校 PTA代表	太田 和章				
13	嬉野市立塩田中学校長	永田 由美	中学校関係者			
14	嬉野市立嬉野中学校長	陣内 弘文				
15	教育政策課長	八谷 幸浩	県教委関係者			
16	教育情報課長	碓 浩一				
17	教職員課長	福地 昌平				
18	学校教育課長	松尾 敏実				
19	保健体育室長	三上 智一				
20	教育支援課長	源五郎丸 靖				
21	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章				
22	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰				
事務局	塩田工業高等学校教諭	見浦 浩徳				
	嬉野高等学校教諭	梶原 理世				
		滑川 喜生				
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄				
県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎					